

高山市図書館

年 報

令和7年度

指定管理者
株式会社図書館流通センター

目 次

I	施設と管理運営体制	1
II	運営体制	
	1. 職制、人員、任務	2
	2. 統括管理業務	2
	3. 通常業務	2
III	通常業務	
	1. 全館	3
	2. 本館	5
	3. 分館	6
IV	図書館事業	
	1. 図書館事業	7
	2. 特集配架	9
	3. 自主事業	11
V	広報	
	1. 自館制作資料の発行及び頒布、活動報告等	12
	2. 読書推進刊行物の配置・配布	12
	3. 公共広報物等の活用	12
VI	ボランティア活動等の支援	
	1. ボランティアグループ	13
VII	生涯学習ホールの管理	
	1. 月別利用状況	13
VIII	その他	
	1. 共催事業	14
	2. 連携事業展示	14
	3. 岐阜県公共図書館協議会 共通テーマ展示	14
	(参考)	
	1. 全館蔵書内訳	15
	2. 分館蔵書数	15
	3. 購入内訳(登録資料分)	16
	4. 除籍内訳	17
	5. 寄贈内訳	17
	6. 利用者登録等内訳	17
	7. 利用状況(本館)	18
	8. 利用状況(分館)	19
	9. 利用状況(全館)	24
	○高山市図書館の沿革	

高山市図書館運営方針（令和6年度～10年度）

1. めざす図書館像

「人と本と情報、人と人、人と地域がつながり、幅広く市民に役立つ身近な図書館
市民の自立を支援する図書館」を目指します。

2. 図書館活動の基本理念

市民の主体的な学びや暮らしの向上を支援し、市民の生活の中にある課題を解決する地域の情報拠点、次世代を担う子どもたちをはじめとするすべての市民の豊かな読書活動の拠点として、図書館サービスの向上に努めます。

また、「人と本」「人と情報」「人と人」「人と地域」をつなぎ、人と人や地域社会との交流の輪の広がりを地域社会のウェルビーイングな状態、持続可能なまちづくりにつなげていきます。

3. 図書館活動の4つの柱

(1) 「知る」「学ぶ」「調べる」を支える図書館

市民の「知る」「学ぶ」「調べる」を支える拠点として、図書館サービスの基盤となる図書館機能、利用環境の整備・向上を推進します。

また、市民の要望や社会の要請に応えるため、地域の情報ハブとしての機能の向上を目指し、各種情報資源の収集、ネットワーク化等に努めることにより、市民の主体的な学びを基調とした知的探求や課題解決を支援します。

(2) すべての人に読書の楽しみを広げる図書館

図書館を利用していない市民を含め乳幼児から高齢者まですべての人に読書の楽しみを広げるため、さらには、図書館を利用するのに障壁のある障がい者や外国人居住者等にも気軽に図書館を利用していただけるようにするため、ボランティア団体をはじめ各種市民団体等と連携・協働して、多様な読書機会の提供に努めます。

また、子どもの読書活動や探求学習を促進するため、保育園・幼稚園、児童センター等と連携して未就学児の読書機会の創出に努めるとともに、小中学校図書館等との連携を強めて、児童生徒の読書活動や探求学習を支援します。

(3) 市民とともに歩み、交流する図書館

誰でも気軽に立ち寄れ、楽しく過ごせる「場」となるよう魅力ある図書館の空間づくりを進めることにより、市民のサードプレイス機能、また、市民や各種団体、地域等の交流の場など空間の多様性を高め、まちづくりにつなげていきます。

(4) 市民の期待に応える図書館

市民の多様なニーズに応えるため、計画的・継続的な人材育成により職員の専門性を高めるとともに、知識・経験を蓄積、継承し、図書館サービス推進体制の充実を図ります。また、創意工夫を凝らして図書館サービスに関する情報を発信していくことにより、市民とのコミュニケーション性を高めていきます。

1. 運営方針の位置づけ

高山市図書館運営方針は、図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年 12 月 19 日 文部科学省告示第 172 号)に基づき策定する基本的な運営の方針と位置づけ、同基準に示されている管理運営、図書館資料、図書館サービス、職員育成等を踏まえて、今後の図書館運営の総合的な方向性を示すものとする。

2. 運営方針の期間

運営方針の期間は、指定管理の期間に合わせ、令和 6(2024)年度から令和 10(2028)年度までの 5 年間とする。

令和7年度高山市図書館選書方針

令和6年3月21日決裁

(目的)

第1条 この方針は、高山市図書館資料収集要綱（以下「収書要綱」という。）の規定に基づき、同要綱第3条に定める図書館資料(以下「資料」という。)を適正に選書するための具体的方針を示すことを目的とする。

(基本方針)

第2条 資料の選書に当たっては、収書要綱第2条の基本方針に則り、次の各号に掲げる事項に留意する。

- (1) 社会情勢等から推定される市民全体のニーズを総合的に検討し、時事性に留意した柔軟かつ広範な選書を行う。
 - (2) 図書館の有する専門的な知見と統計を活用し、有用又は生涯学習の基盤となり得る資料の選書を行う。
 - (3) 蔵書の網羅性やバランスに過度にとらわれることなく、資料的価値に則した選書を行う。
- 2 公共図書館の役割が時代とともに変化を続けていることを考慮し、この方針については毎年度検討を加え、必要に応じて改定する。特に、第6条第2項については、社会情勢、市民ニーズ、地域課題等を踏まえて毎年度見直すものとする。

(方針の性質)

第3条 この方針は、高山市図書館資料選書委員会運営要綱第6条に定める候補リストの作成に際し、資料選定の基本的な方針となる。

(選書の姿勢)

第4条 この方針においては、選書の姿勢を次の各号に掲げる順で表すものとする。

- (1) 網羅的に選書する
 - (2) 体系的に選書する
 - (3) 積極的に選書する
 - (4) 選択的に選書する
- 2 前項の規定を選書にあたっての基本姿勢とするが、次の各号に掲げる資料は原則選書しない。
- (1) 収書要綱で収集しないとされている資料
 - (2) 第2条に定める基本方針に適さない資料
 - (3) 次条に定める資料種別方針に適さない資料

- (4) 選書委員会の決定において不採択とされた資料及び当該事由に該当し得る資料
- (5) その他司書等がその専門的知見に基づき高山市図書館における選書に適さないと判断する資料

(資料種別方針)

- 第5条 一般図書は、出版点数、分野とも最も多く、図書館の蔵書構成の中核となる資料であるから、市民全体のニーズと資料の情動的価値に留意した選書に努める。
- 2 児童書は、子どもが読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成に役立つ資料、豊かなことばと想像力を育み、知識を広げることができる資料の選書に努める。
 - 3 視聴覚資料は、教養又は文化活動に資するため、各分野の代表的な作品を中心に選書する。
 - 4 その他の形態の資料は、高山市図書館における選書に適すると判断される資料に限り、選択的に選書する。

(基準)

- 第6条 前条に規定する選書の詳細については、別に定めるものとする。
- 2 前項の規定に関わらず、特に重点的に選書する分野については、別に定めるものとする。
 - 3 別に定めのないものについては、この方針の規定に従い、適切に選書する。

(リクエスト)

- 第7条 高山市図書館が受け付けたリクエスト（高山市図書館に所蔵のない資料についての収集要請をいう。）については、この方針の定めに従い、採択の可否を判断する。
- 2 前項の規定に基づき採択しないとする場合のほか、次の各号に掲げるリクエストについては、採択しない。
 - (1) 図書又は雑誌（岐阜県図書館に所蔵のある雑誌に限る。）以外を対象とするもの
 - (2) 高山市図書館の有する通常の流通経路において当該資料の入手が困難なもの
 - (3) 借受依頼先館の状況や高山市図書館の対応状況等を総合的に勘案して、当該資料の借り受けが困難であると認められるもの
 - (4) その他高山市図書館において資料の提供が困難であると認められるもの
 - 3 高山市図書館は、受け付けたリクエストについて採択の可否を判断した後、採択しない旨を選書委員会に提起する場合には、高山市図書館資料選書委員会運営要綱の規定に基づき提出する候補リストにおいて、採択しない旨及び事由を付記するものとする。

(所蔵館の指定)

- 第8条 所蔵を予定する図書館の指定においては、次の各号に掲げる事項に留意し、決定する。

- (1) 本館（高山市図書館の設置及び管理に関する条例（平成 15 年 12 月 19 日条例第 17 条）第 2 条に定める高山市図書館「煥章館」をいう。）については、基本的な資料から専門的な資料まで、さまざまな分野の資料を広く所蔵する。
- (2) 分館（同条例第 3 条第 2 項に定める分館をいう。）については、幅広い分野の基本的な資料を中心に、各分館の有する特性に留意した資料を所蔵する。

（解釈及び運用）

第 9 条 この方針は、言語の一般的かつ合理的な意味に従って、高山市図書館において解釈運用する。

- 2 選書は、資料の性質や蔵書の状況、予算等を総合的に考慮して決せられるものであり、決定の過程については、図書館の取書の自由に基づきその詳細を開示しない。
- 3 この方針の決定及び改定については、高山市図書館資料選書委員会運営要綱第 2 条の規定に基づき、選書委員会が所掌する。なお、原案の作成は高山市図書館において行うものとする。
- 4 NDC の表記については、新訂 10 版に準拠する。

附則

この方針は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

注釈

第 4 条第 1 項各号に規定する選書の姿勢については、第 9 条第 1 項の規定に関わらず、次のように解釈する。

- (1) 網羅的に選書する 当該分野について、可能な限りすべてを検討する
- (2) 体系的に選書する 当該分野について、関連する資料を幅広く検討する
- (3) 積極的に選書する 当該分野について、選択的と比して積極性を持ち検討する
- (4) 選択的に選書する 当該分野について、特に必要と思われる資料について検討する

I 施設と管理運営体制

○本館

名 称	施設形態	蔵書点数	市人口	備 考
高山市図書館「煥章館」	複合施設	202,278	80,885	

○分館

名 称	施設形態	蔵書点数	区域人口	備 考
高山市図書館丹生川分館	支所内	17,944	3,866	丹生川支所内
高山市図書館清見分館	支所内	10,038	2,106	きよみ館内
高山市図書館荘川分館	センター内	8,455	928	荘川総合センター内
高山市図書館一之宮分館	交流館内	13,126	2,261	飛騨位山文化交流館内
高山市図書館久々野分館	公民館内	11,129	3,010	久々野公民館内
高山市図書館朝日分館	支所内	4,949	1,337	燦燦朝日館内
高山市図書館高根分館	センター内	1,287	239	高根多目的センター内（令和7年4月21日移転）
高山市図書館国府分館	センター内	22,231	6,966	こくふ交流センター内
高山市図書館上宝分館	支所内	12,779	2,509	上宝支所内
合 計		101,938	23,222	

※ 蔵書点数は令和8年3月31日、人口は令和8年3月31日現在

○休館日、開館時間等

名称	休館日	開館時間	運営体制
本 館	毎月月末日（土日祝は除く）・12/31～1/3 11月第4日曜日から7日間	9:30～21:30	株式会社図書館流通センター （基本協定書等に基づき運営する）
丹生川分館	第2・4月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 2月第3火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
清見分館	第2・4月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 2月第3火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
荘川分館	第1・3・5月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 3月第1火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
一之宮分館	毎週月曜日・12/29～1/3 2月第3火曜日から4日間	火～土 9:00～21:00 日祝日 9:00～17:00	〃 施設の休館日に合わせる
久々野分館	第1・3・5月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 3月第1火曜日から4日間	9:30～21:30	〃 施設の休館日に合わせる
朝日分館	第2・4月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 2月第3火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
高根分館	第1・3・5月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 3月第1火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
国府分館	第2・4月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 2月第3火曜日から4日間	9:30～21:30	〃
上宝分館	第1・3・5月曜日、祝日の翌日・12/29～1/3 3月第1火曜日から4日間	9:30～21:30	〃

II 運営体制

1. 職制、人員、任務

職 位	人数	任 務
館長 (ディレクター)	1人	館を代表し、本社委嘱の職務権限に基づき、館運営の全体について、必要な決定、指示、命令、指揮、調整等を行う。また統括管理業務を専任する。
業務責任者 (チーフ)	4人	館長を補佐するとともに、館長委任の職務権限に基づき、館業務の全体を統括し、必要な決定、指示、助言、支援、調整等を行う。また館長とともに統括管理業務を専任する。
業務担当責任者 (サブチーフ)	7人	業務責任者等を補佐するとともに、業務責任者等との協議に基づいて業務担当員等に対し指示、助言、支援、調整等を行い、担任業務を総括、調整し、かつ遂行する。また業務責任者等の指示により、統括管理業務を補助する。
業務担当員 (スタッフ)	21人	業務サブチーフ等の指示等に基づき、各担任業務の遂行にあたる。
分館業務担当員 (分館スタッフ)	14人	業務サブチーフ等の指示等に基づき、各分館の業務の遂行にあたる。

(令和8年3月31日現在 スタッフ数48人(内 休職中のスタッフ1人))

2. 統括管理業務

統括	担 任	担当補助者	業 務 内 容
館長	業務責任者	業務担当責任者	採用面接、人事管理、人事評価・報告、スタッフ研修、勤務シフトの策定、運営体制の策定、年間業務計画書・各月業務計画書の策定、年間事業計画書の策定、年間及び各月業務報告書の策定、業務日報の策定、本社会議の出席、選書委員会関係、運営委員会・全体会議関係、図書整理日及び特別図書整理日の企画・実施、モニタリング調査の実施・集計、防災計画の実施、文書管理、施設・設備・備品等の修繕計画の策定・実施、各種照会・調査事項の対応、本社協議、行政等対外折衝、分館指定管理者との協議、視察等の対応、その他通常業務以外の重要事項

3. 通常業務

統括	管理・指導体制	担当部	主 な 業 務 内 容
館長	業務責任者 業務担当責任者	総務部	施設設備・備消耗品の管理、労務・人事管理、経理業務、施設使用申請書受付、施設予約システム管理、郵便物の収発、一般関係広報、館内環境整備
		企画部	企画、分析、選書方針、統計業務、視察・見学の受付、モニタリングアンケート調査、駐車場関係、広報、調査回答、企画展示、上映会等の企画、システム・PC・データベース管理運営、LoGo フォーム管理運営
		事業部	各事業の運営(煥章館セミナー、ビジネス生活支援事業、健康促進事業等)
		資料部	一般図書、視聴覚資料、雑誌・逐次刊行物、郷土資料の購入及び管理(選定、発注、装備、登録、排架、除籍)、寄贈資料の受入、新聞データベース受入
		奉仕部	一般・児童開架運営、カウンター業務(貸出、返却、予約、リクエスト、相互貸借)レファレンス、レファレンス協同データベース管理、複写、関係団体連携協力、資料の督促・弁償、分館対応(巡回、助言・指導)、資料配送、児童サービス(おはなし会)、子育て支援サービス、障がい者サービス、高齢者サービス、体験学習の対応、学校図書館連携(総合学習、レファレンス、ブックトーク等)、ボランティア活動支援

Ⅲ 通常業務

1. 全館

(1) 資料関係

① 蔵書の年度推移

(単位：点)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
期首蔵書数	325,623	317,636	306,288	
年間購入数	13,025	12,385	12,408	登録した雑誌を含む
年間寄贈数	981	658	532	
年間除籍数	21,993	24,391	15,012	
期末蔵書数	317,636	306,288	304,216	

② 購入(登録点数)

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	雑誌	おもちゃ	合計
令和7年度	10,429	219	1,760	0	12,408
令和6年度	10,385	226	1,774	0	12,385
増減	44	△7	△14	0	23

③ 寄贈

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	雑誌	おもちゃ	合計
令和7年度	354	24	154	0	532
令和6年度	499	6	153	0	658
増減	△145	18	1	0	△126

④ 除籍

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	雑誌	おもちゃ	合計
令和7年度	12,700	204	2,099	9	15,012
令和6年度	22,016	568	1,790	17	24,391
増減	△9,316	△364	309	△8	△9,379

⑤ 修理

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	おもちゃ	合計
令和7年度	1,387	71	0	1,458
令和6年度	1,092	56	0	1,148
増減	295	15	0	310

⑥ 弁償

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	雑誌	合計
令和7年度	40 (2)	1	0	41
令和6年度	16	0	3	19
増減	24	1	△3	22

※ () 内は現金弁償の点数。

(2) 利用状況

① 年度別利用概況

(単位：日、人、点、件)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度対比(令和7/令和6)	
開館日数	344	336	342	6	101.8%
入館者数	339,068	342,476	343,634	1,158	100.3%
利用者数	130,256	126,731	134,768	8,037	106.3%
貸出点数	377,600	357,265	371,319	14,054	103.9%
予約件数	41,377	40,540	44,863	4,323	110.7%
登録者数	1,357	1,268	1,152	△116	90.9%
レファレンス件数	3,313	3,880	3,814	△66	98.3%

※ 開館日数は本館(煥章館)の開館日数である。

② 個人貸出 (単位：人、点)

項目	利用者数	貸出点数
令和7年度	130,061	349,766
令和6年度	123,692	342,850
増減	6,369	6,916

③ 団体貸出 (単位：団体、点)

項目	団体数	貸出点数
令和7年度	4,312	20,984
令和6年度	2,636	13,860
増減	1,676	7,124

④ 相互貸借

(単位：点、件)

項目	相互貸借		複写	
	借受点数	貸出点数	他館依頼件数	本館受付件数
令和7年度	767	566	0	0
令和6年度	637	544	2	0
増減	130	22	△2	—

⑤ 宅配サービス (単位：件、点)

項目	件数	貸出点数
令和7年度	0	0
令和6年度	0	0
増減	—	—

⑥ 資料督促件数

(単位：件)

項目	市内	市外	合計
令和7年度	661	27	688
令和6年度	727	25	752
増減	△66	2	△64

⑦ ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用件数 (単位：件)

項目	館外	館内	合計
令和7年度	87	0	87
令和6年度	93	0	93
増減	△6	—	△6

⑧ 団体お届けサービス (単位：件)

項目	件数
令和7年度	28
令和6年度	10
増減	18

2. 本館

(1) 資料関係

① 購入(登録)

(単位：点)

項目	図書	視聴覚資料	雑誌	おもちゃ	合計
令和7年度	6,464	219	1,066	0	7,749
令和6年度	6,621	226	1,090	0	7,937
増減	△157	△7	△24	—	△188

(2) 利用状況

① 年度別利用概況

(単位：日, 人, 点, 件)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度対比(令和7/令和6)	備考
開館日数	344	336	342	6	101.8
入館者数	211,420	213,367	219,368	6,001	102.8
利用者数	114,117	111,096	119,620	8,524	107.7
貸出点数	324,824	307,578	321,441	13,863	104.5
予約件数	36,984	35,793	38,773	2,980	108.3
登録者数	1,173	1,074	995	△79	92.6
レファレンス件数	2,904	3,328	3,312	△16	99.5

② 資料コピー

(単位：件, 枚)

項目	自館資料		他館資料	
	件数	枚数	件数	枚数
令和7年度	491	3,802	7	44
令和6年度	554	4,029	7	111
増減	△63	△227	0	△67

③ 障がい者サービス

(単位：人, 点)

項目	利用状況		対面朗読室 利用件数	貸出点数				
	登録者数	利用者数		図書	視聴覚	録音物	点字	合計
令和7年度	2	118	0	11	0	39	94	144
令和6年度	1	70	0	36	0	35	60	131
増減	1	48	—	△25	—	4	34	13

④ 施設・設備利用

(単位：人)

項目	AVブース	国立国会図書館 デジタル化資料	新聞 データベース	学習室 (ホール利用含)
	ペア			
令和7年度	2,021	43	36	3,008
令和6年度	1,904	39	26	3,851
増減	117	4	10	△843

⑤ 書架整理

(単位：日)

日常点検・整備	月末図書整理	特別図書整理	合計
342	11	7	360

⑥ 図書リサイクル

(単位：点)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,849	1,396	1,620

3. 分館

(1) 資料関係

① 購入(登録)

(単位：点)

項目	図書	雑誌	合計
丹生川	645	96	741
清見	372	115	487
荘川	376	64	440
一之宮	568	76	644
久々野	437	94	531
朝日	200	26	226
高根	102	35	137
国府	859	101	960
上宝	406	87	493
合計	3,965	694	4,659

② 定期配送(新刊、雑誌、予約資料、回送資料等配送)

週2回	丹生川・清見・荘川・一之宮・久々野・国府・上宝
週1回	朝日・高根

③ 臨時配送

(単位：点)

丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野	朝日	高根	国府	上宝	合計
700	400	300	400	400	200	500	800	400	4,100

(2) 利用概況

(単位：人, 点, 件)

項目	入館者数	利用者数	貸出点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
丹生川分館	11,489	1,598	5,693	834	22	80
清見分館	10,728	2,684	7,961	1,161	13	93
荘川分館	8,727	769	2,084	609	10	29
一之宮分館	16,808	1,610	5,726	728	22	128
久々野分館	16,821	1,402	5,720	1,110	20	28
朝日分館	1,015	751	2,435	353	1	8
高根分館	244	99	309	24	1	0
国府分館	48,802	5,513	17,766	1,004	56	119
上宝分館	9,632	722	2,184	267	12	17
合計	124,266	15,148	49,878	6,090	157	502

(3) 年度別利用状況(分館全体)

(単位：人, 点, 件)

項目	入館者数	利用者数	貸出点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
令和7年度	124,266	15,148	49,878	6,090	157	502
令和6年度	129,109	15,635	49,687	4,747	194	552
令和5年度	127,648	16,139	52,776	4,393	184	409

IV 図書館事業

1. 図書館事業

(1) 本館

No.	事業名	回数	実施時期	参加者数
1	煥章館セミナー 文学講座 「明治以降の日本文学を拾い読む 国木田独歩」	5回	6～10月	延べ93人
	煥章館セミナー 郷土講座「飛騨の商人群像 一天領中期一」	5回	6～10月	延べ169人
	煥章館セミナー 日本史講座「考古資料が語る日本の歴史」	5回	6～10月	延べ83人
2	高山祭展示（リーフレット配付）	2回	4・10月	－
3	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	－	4～3月	－
4	Wi-Fi サービス	－	4～3月	－
5	上映会・バリアフリー上映会・こども上映会	30回	4～3月	延べ986人
6	高山市平和の日展示	－	9月	－
7	健康促進事業 みんなの健康シリーズ（CATV 放映）	8回	6～11月	延べ218人
8	乳幼児家庭教育事業（わらべ歌・栄養・虫歯予防・防災・眠育・授乳各講座）	8回	6～9・1・2月	延べ118人
9	高齢者支援事業（認知症講演会・介護者教室・成年後見制度）	4回	9・11・12・2月	延べ222人
10	定例おはなし会	150回	4～3月	延べ1,300人
	英語でおはなし会	10回	6～3月	延べ256人
	ブックスタート（本はともだち）	48回	4～3月	延べ413人
	出張おはなし会（特別支援学校、フィン・ユール邸、城山児童センター）	19回	4～2月	延べ441人
	おはなし会スペシャル	4回	8・11・12月	延べ217人
11	外国語絵本展 ～時と国境を越えて愛される名作絵本たち～	－	3月	－
12	子どもの本に関する講演会 絵本作家 きくちちきさん ワークショップ&講演会	2回	10月	延べ90人
13	わくわく図書館ビジット事業	20回	6～2月	延べ897人
14	読書通帳	－	4～3月	延べ1,115人
15	新聞切り抜き作品作り方教室	－	7月	11人
16	学校及び学校図書館連携支援事業	－	6～10月	－
17	〈図書館フェア〉体験！本のクリニック	2回	9・10月	延べ13人
	〈図書館フェア〉芥川賞候補作家駒田隼也さんトークイベント	1回	9月	29人
	〈図書館フェア〉いけばな展示	－	10月	－
	〈図書館フェア〉万華鏡ワークショップ	2回	10月	延べ54人
	〈図書館フェア〉上映会スペシャル なつかしの昭和特集	5回	10月	延べ74人
	〈図書館フェア〉ハッピーハロウィン♪	－	10月	－
18	〈書店との連携事業〉 タカヤマブックマーケット ～一箱古本市@煥章館～	2回	4・10月	出店者 延べ23人
19	クリスマスミニツリー教室	2回	11月	延べ49人
20	福祉のお店 in 煥章館	13回	4～3月	－
21	本の福袋	1回	1月	45セット
22	飛騨春慶弦楽器 ミニコンサート	1回	3月	70人
23	USEN MUSIC	－	4～3月	－
24	新聞データベース検索システムの運用	－	4～3月	36人
25	交流スペースの運用	－	4～3月	－
26	ファミリースペースの運用	－	4～3月	－
合計				7,022人

(2) 分館

No.	事業名	分館名	回数	実施時期	参加者数
1	分館定例おはなし会	各館	32回	4～3月	延べ124人
	英語でおはなし会	荘川・一之宮	2回	7・1月	延べ53人
	ブックスタート(本はともだち)	各館	11回	4～3月	延べ52人
	おはなし会スペシャル	各館	8回	7～12月	延べ166人
	分館出張おはなし会	清見・荘川・久々野・朝日・国府・上宝	63回	4～3月	延べ771人
2	わくわく図書館ビジット事業	丹生川・久々野・国府・朝日	5回	7・9・10・12・3月	延べ179人
3	読書通帳	各館	—	4～3月	延べ301人
4	分館上映会	各館	9回	7～8月	延べ412人
	分館おとな上映会	久々野・朝日	2回	12月	延べ98人
5	おでかけ図書館「丹生川デイサービスセンター」	丹生川	11回	毎月1回	—
	おでかけ図書館「清見デイサービスセンター」	清見	13回	毎月1回	—
	おでかけ図書館「デイサービス荘川」	荘川	23回	毎月2回	—
	おでかけ図書館「荘川小学校放課後児童クラブ」	荘川	5回	7～8月	—
	おでかけ図書館「久々野デイサービスセンター」	久々野	10回	毎月1回	—
	おでかけ図書館「久々野小学校放課後児童クラブ」	久々野	5回	2か月に1回	—
	おでかけ図書館「朝日小学校放課後児童クラブ」	朝日	10回	毎月1回	—
	おでかけ図書館「のくとい館」	高根	4回	12～3月	—
	おでかけ図書館「きりん国府」	国府	12回	毎月1回	—
6	丹生川分館 ちいさな図書館コーナー	丹生川	—	4～3月	—
7	〈図書館フェア〉てつぼうネコ(工作)	各館	—	10月	延べ267人
	〈図書館フェア〉シールがめじるし 分館ラリー	全館	—	10月	延べ225人
	〈図書館フェア〉企画展示「サイコロ・リーディング-花言葉編-」	各館	—	10月	—
8	上宝分館「図書館を飾ろう」	上宝	—	8～9月	—
9	荘川分館「魚を釣って本を探そう！」	荘川	—	7～8月	—
10	久々野分館「上映会を更に楽しむ方法」	久々野	—	8月	—
11	一之宮分館 位山分室の運用	一之宮分館	—	4～3月	—
				合計	2,648人

2. 特集配架

① 特別展示配架（本館）

月	内容
4～3月	児童・YA 向け新聞紹介
5月	生物多様性展示
6月	飛騨地区選定小中教科書展示会
7月	新聞切り抜き作品コンクール優秀作品展
7～8月	夏のチャレンジ応援コーナー
8月	写真でたどる高山の100年
9月	かわいそうな本たち
10～12月	見えているのに、ありえない。～杉原厚吉の立体錯視展～
10月	〈図書館フェア〉くらべて発見！大きき研究室
11月	点字の展示
1月	ブックス・オブ・ザ・イヤー2025
3月	備えてますか？高山の災害と避難生活
	外国語絵本展

② 大特集・人物特集（本館）

月	児童書架（木のくに子ども図書館）		一般書架	
	大 特 集	人 物 特 集	大 特 集	人 物 特 集
4	はる、まんかい	デイビッド・ウォーカー	手紙で伝える ～4月20日は郵政記念日～	本屋大賞ノミネート作品と過去の受賞作品
5	はるにおでかけ	いわむら かずお	みどりのある生活	さくらももことエッセイの魅力
6	世界と日本のむかしばなし	三浦 太郎	雨の日の過ごし方	芥川賞・直木賞
7	宇宙の旅へ！	えがしら みちこ	海を知り、楽しむ	
8	夏を楽しもう！	那須 正幹	怖いけど読みたいホラーの世界	スピルバーグと映画の世界～スピルバーグ監督作品『ジョーズ』50周年～
9	家族といっしょ！	Junaidaと文字のない絵本	命を考える	三島由紀夫～生誕100周年～
10	月が笑う夜、ハロウィン世界へ	ミロスラフ・サセック	行楽の秋	画家たちが描いた女性の美～上村松園 生誕150周年～
11	へんしんぴより～秋風にのって、ぼくもわたしもへんしん中！～	茂市 久美子	ふれてみよう！～世界の文化と習慣～	マネジメントの父～ピーター・ドラッカー 没後20年～
12	ふゆがきた！～さむいけど楽しいね♪～	荻田 澄子	年末は、これでスッキリ！	芥川賞・直木賞
1	干支（えと）を知ろう！	長谷川 義史	午年に読みたい馬の本	
2	科学のせかいへ。はじめの一步。	MOE 絵本屋さん大賞2025	お菓子の世界	交響曲の父～モーツァルト生誕270年～
3	いきものだ～いすき♪	間瀬 なおかた	ミニチュアの世界～凝縮された無限のリアル～	安野光雅の仕事～生誕100周年～

③ 小特集・郷土特集（本館・一般書架のみ）

月	小特集	郷土特集
4	食で紡ぐ物語／博覧会の歴史／発明の日／昭和レトロ	飛騨の祭
5	ミステリー／煥章館セミナー日本史講座／認知症とともに生きる／朱川湊人作品／青春小説	山めぐり城めぐり
6	酒を楽しむ／朝活のススメ／今だから知りたい地政学・世界史／安全をみぢかに	
7	日本の島々／選挙へ行こう／戦後80年 井上ひさしと戦争を知る本／go to キャンプ	調べてみよう！飛騨高山
8	花火／山 8月11日は山の日／Win95／冷菓はいかが？／9月1日は防災の日	
9	クラシック音楽／天体観測／真実とは何か？／観光	人物でみる飛騨
10	ワークライフバランス／ノーベル賞／髪／ミステリー／大人の恋愛	高山祭
11	入れ替わり小説／クマだ！／感染症対策・予防／平和を考える	伝統工芸品
12	謎解き／今年の漢字／金利が上がるとどうなるの？／おさらい！戦国時代	飛騨の冬の暮らし
1	フェルメールとオランダ絵画／エネルギー資源と混迷する世界／巨樹・巨木と東野圭吾作品／政治家	
2	冬のスポーツを観戦しよう！／いぬ派？ねこ派？／お済みですか？確定申告／お江戸ミステリー	民俗学でみる飛騨
3	燃え上がれ！ベースボール／揺れる中東情勢／ラブストーリー／医療に携わった人々	

④ 特集展示（分館）

分館名	展示タイトル
丹生川分館	台所で過ごす時間/ゆるく生きる/世界のうまい！を集めたら/お直し・リメイク/本気でこわい怪談小説/ガッツリ食べたい！！/写真を撮る生活/ユニークな本たち/絵を楽しむ絵本/美味しそうな小説/甘くてほろ苦い恋の小説/植物と暮らす日々
清見分館	散歩にでかけよう/たね/お金について学ぼう/お料理だいすき/日本絵本賞受賞作品/むかしむかしのお話/マーク・記号の本/いい石の日/映画化された小説/落語絵本/これって方言？/あな
荘川分館	本でお花見してみませんか/さあ！外へ飛び出そう/雨の日おうちで何を？/身近なふしぎ/夏の物語/世界を巡る/秋の夜長に推し活を！/かわいい〇〇/大人も楽しめる絵本・児童書/温活/ねこ/お金の話
一之宮分館	本屋大賞過去作品/お母さんはやっぱりすごい！/円滑なコミュニケーションとは？/エッセイを楽しむ/写真絵本/シンプルな暮らし/図書館で読む、パンのあれこれ/きのこ木の実/絵本であじわおう！詩とことば/外国語絵本/睡眠の質をUP！しよう/ユニット絵本作家
久々野分館	朝ごはん/遊びの冒険へ出かけよう/歯を大事に/星を見上げて/毒のある……/キノコの世界/魔法と魔女/食育/12の次は13/Beautiful World/あったかスープ/うめ・もも・さくら
朝日分館	建築探訪/大人も自由研究/発酵はおいしい/外あそび入門/図書館のものがたり/江戸を知る、楽しむ/旅のおはなし/社会学入門/映画案内/夢/パン/学校
高根分館	ショート・ショート/ゼロからはじめる〇〇/大人も自由研究/発酵はおいしい/外あそび入門/図書館のものがたり/江戸を知る、楽しむ/旅のおはなし/社会学入門/映画案内/夢/パン
国府分館	はじめたいときに手に取る本/旅する本/泥棒たちの物語/怖い話の本/暑い夏でも充実した毎日を！/温泉へ行こう/謎解きミステリー/魅力的な廃墟/2025年が終わる前に掃除と整理整頓を！/ぬくもりを求めて/手作りの楽しさを知ろう！/時間をかけて旅をしよう
上宝分館	歌おう/たいせつな人/雨を楽しもう/未来の食卓/時間がない？！/いろいろな方言/日本のよいところ/だれかの人生/自分をねぎらう/山/うま〜いおはなし/一句、よんでみませんか？

⑤ その他展示（本館）

月	情報コーナー特別配架 tcl_fave～	ショーケース展示	
		2階	1階
4	〇〇デビュー！	—	高山祭ポスター
5	夏も近づく八十八夜！お茶の本	こいのぼり	武者人形（こどもの日）
	夏を先取り！ひんやりメニュー！		
6	気になるタイトルの本集めました	浮世絵（写楽）	太宰治（桜桃忌）
	ヴィランにされまして		昔の結納水引
7	神話		昭和の生活雑誌・写真誌
	フルーツ		
8	声のお仕事界隈	浮世絵（広重）	昭和の飛騨 唄と踊り
9	本の美術館		本の修理・製本道具
10	ストレッチ・体操	見えているのに、ありえない。 ～杉原厚吉の立体錯視展～	きくちちき原画展
	アンソロジー		見えているのに、ありえない。 ～杉原厚吉の立体錯視展～
11	文房具		
	ボジョレー解禁！ワインの本		
12	未来の自分に最高のリターンを	レコードでみる昭和	
1	日記・手帳・ノート術	百鬼夜行図	映画「国宝」特別上映会関連展示
	Map—地図を開けば心が旅に出る		
2	「好き」ってどんな味？	映画「国宝」特別上映会関連展示	高山幼稚園作品展
	気を付けて！あなたを狙う甘い罠		
3	日本文学のすゝめ	ひな人形（協力：久々野公民館）	防災ベスト・防災クマさん・防災キッズ メット （協力：防災科学技術研究所自然災害情 報室）
	桜前線上昇中		

3. 自主事業

No.	行事名	回数	実施時期	参加者数等	
1	調べ学習推進・支援事業	コンクール受賞作品展示	—	7・8月	—
		地域コンクール審査会	—	9月	47作品
		地域コンクール表彰式	—	10月	10作品
2	動くロボットを見てみよう！	1回	8月	延べ77人	
3	団体貸出サービスを利用した読書促進事業 （配送サービス）	28回	4～3月	—	
4	これからの資産形成	4回	8～10月	延べ71人	
5	図書館俳句ポスト	12回	4～3月	283作品	
6	ソーシャルメディアの活用 （X:旧Twitter・Facebook・Instagram・YouTube）	—	4～3月	—	
7	dマガジン for Biz	—	4～3月	—	
8	ナクソス・ミュージック・ライブラリー	本館	—	4～3月	延べ87件
		分館			延べ0件
9	TRC・ADEAC（歴史資料デジタル情報検索・閲覧事業）	—	—	—	
10	レファレンス協同データベース事業	—	4～3月	422事例	
11	東海テレビの音読ひろば	1回	9月	56人	

V 広報

1. 自館制作資料の発行及び頒布、活動報告等

種類		実施回数・時期	主な内容
図書館報	図書館だより	12回(月1回)	利用案内、資料紹介、行事案内、運営概況等。8,400部発行。全館に配置し、関係機関に送付。
	木のくにだより		利用案内、資料紹介、行事案内等。5,400部発行。全館に配置し、関係機関に送付。
	分館だより	4回(季刊)	利用案内、資料紹介、行事案内等。2,800部発行。全館に配置。
図書館活用ハンドブック		随時	図書館サービスの周知。
ホームページ		随時	利用案内、行事案内等。
ソーシャルメディア(X(旧Twitter)・Facebook・Instagram・YouTube)		随時	利用案内、行事案内等。
「広報たかやま」への掲載		12回	利用案内、行事案内、特集案内等。
高山市メール配信サービスの実施		随時	利用案内、行事案内、特集案内等。
ヒットFMでの放送		24回 (月2回)	利用案内、行事案内、特集案内等。
日刊紙、地方紙への掲載		随時	行事案内、事業取材記事等。
月刊プレスへの掲載		随時	利用案内、行事案内等。
ポスターの掲示		随時	行事案内等。全館で掲示。
チラシの配置、配布		随時	行事案内等。全館で配置。
看板設置(1階カウンター前)		随時	利用案内、行事案内等。
点訳版図書館報「図書館だより」		12回(月1回)	「図書館だより」の点訳版。全館で配置。希望者には送付。
音訳版図書館報「声の図書館だより」		12回(月1回)	「図書館だより」の音訳版。図書館ホームページで配信。

2. 読書推進刊行物の配置・配布

パンフレット等の名称	実施時期	部数	備考
「敬老の日読書のすすめ」	9月	200部	敬老の日
「敬老の日読書のすすめ」、 「若い人に贈る読書のすすめ」	10～11月	300部	読書週間
「若い人に贈る読書のすすめ」、 高山市図書館の利用案内	1月	1,000部	市内中学校へ配布

※ 「敬老の日読書のすすめ」「若い人に贈る読書のすすめ」のパンフレットは社団法人読書推進運動協議会発行。

3. 公共広報物等の活用

館内掲示板や情報コーナーにおいて、高山市広報誌「広報たかやま」、高山市観光パンフレットをはじめ、公共機関・団体の多くの広報資料を掲示・配置したほか、民間事業者の刊行物も、収益を目的とせず、公共性・公益性を有する資料については協力しました。

VI ボランティア活動等の支援

1. ボランティアグループ

No.	名称	活動分野	人数	主な活動内容
1	おはなしネット・ことだま	読み聞かせ	34	本館おはなし会 (48 回)、ブックスタート (47 回)、上宝分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)、飛騨特別支援学校出張おはなし会 (8 回)
2	かるがもおはなし隊	〃	5	本館おはなし会 (8 回)、本館祝日おはなし会 (1 回)
3	ごんべいさんの会	〃	4	本館おはなし会 (46 回)
4	おむすびころりん	〃	12	本館おはなし会 (16 回)
5	手話サークル 笑美の会	〃	28	本館手話に親しむおはなし会 (12 回)
6	お話玉手箱	〃	6	一之宮分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)、本館祝日おはなし会 (1 回)
7	いちごくらぶ	〃	7	丹生川分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)、本館祝日おはなし会 (1 回)、
8	荘川読書サークル	〃	5	荘川分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)
9	絵本ばたけ	〃	3	朝日分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)
10	さくらんぼおはなしの会	〃	21	国府分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)
11	ほんこさんの会	〃	5	清見分館おはなし会スペシャルに協力 (1 回)
12	飛騨のかたりべ いろりばた	〃	6	
13	高山音訳サークル・あめんぼの会	音訳・朗読	10	特別支援学校出張おはなし会 (8 回)、本館祝日おはなし会 (2 回)
14	あゆみ会	点訳	3	図書館だより等の点訳 (12 回)
15	図書装備ボランティア・ひばりの会	装備・修理	14	図書の装備、修理等
16	ひだ・やまねこ朗読研究会	音訳・朗読	7	図書館だよりの音訳 (12 回)
17	あかちゃん文庫	読み聞かせ	3	本館おはなし会 (1 回)
18	書架整理ボランティア	書架整理	5	本館分館の書架整理 (71 回)

(18 グループ)

VII 生涯学習ホールの管理

1. 月別利用状況

月	件数	人数	減免件数
4	50	586	34
5	37	278	25
6	48	629	28
7	50	494	22
8	50	683	20
9	63	608	30
10	53	1,238	18
11	60	949	35
12	33	508	21
1	35	466	15
2	42	443	26
3	57	641	34
合計	578	7,523	308

VIII その他

1. 共催事業

No.	事業名	共催団体	実施日	参加者数	備考
1	健康促進事業 みんなの健康シリーズ 全4回 (CATV 放映、YouTube 配信)	高山市医師会	6月～9月	延べ153人	講師派遣等
2	健康促進事業 みんなの健康シリーズ 全3回 (CATV 放映、YouTube 配信)	高山市薬剤師会／高山市歯科医師会	8月～10月	延べ50人	講師派遣等
3	健康促進事業 みんなの健康シリーズ 全1回 (CATV 放映、YouTube 配信)	高山市	11月	延べ15人	講師派遣等
4	乳幼児家庭教育事業	高山市子育て支援センター	6～9・1・2月 計8回	延べ118人	
5	高齢者支援事業	高山市高年介護課	9・11・12・2月 計4回	延べ222人	
合計				558人	

2. 連携事業展示

月	小特集	連携団体
5	伊藤正道氏原画展	飛騨世界生活文化センター
6	岐阜県歯科衛生士会パネル展	岐阜県歯科衛生士会
7	新聞切り抜き作品コンクール優秀作品展	中日新聞社
9	高山市平和の日展示	生涯学習課
	認知症予防展示	高年介護課
	自殺予防展示	健康推進課
10	里親制度展示	飛騨子ども相談センター
11	相続・書道作品展	岐阜県地方務局高山支局
	特別支援学校高山日赤分校写真展	岐阜県立飛騨特別支援学校 高山日赤分校
	男女共同参画・人権啓発パネル展	生涯学習課
	高山市美術展入賞作品展	生涯学習課
12	特別支援学校展示	岐阜県立飛騨特別支援学校
1	北小学校写真コンテスト	高山市立北小学校
2	難病図書フェア	岐阜県難病団体連絡協議会
3	自殺予防展示	健康推進課
	雛人形	久々野公民館
-	がん情報ギフト	国立がん研究センター

3. 岐阜県公共図書館協議会 共通テーマ展示

月	特集	連携団体
9	防災	小特集にて実施
11	ぎふ本大賞	情報コーナーにて実施

(参考)

1. 全館蔵書内訳

(1) 種類別内訳

(単位：点)

一般書	児童書	雑誌	視聴覚資料	おもちゃ	近代文学館	合計
211,500	80,304	3,662	8,166	151	433	304,216

(2) 図書

① 一般書区分別内訳

(単位：点)

0. 総記	1. 哲学	2. 歴史	3. 社会科学	4. 自然科学	5. 技術	6. 産業
6,071	7,214	17,857	24,094	13,568	18,662	7,855
7. 芸術	8. 言語	9. 文学	合計			
21,642	3,117	52,085	172,165			

② 一般書別置資料内訳

(単位：点)

L. 郷土	R. 参考	D. 大活字	Y. 洋書	T. 点字	B. 文庫	その他
12,154	7,632	2,516	899	286	15,848	0
合計						
39,335						

③ 児童書区分別内訳

(単位：点)

0. 総記	1. 哲学	2. 歴史	3. 社会科学	4. 自然科学	5. 技術	6. 産業
676	643	2,719	3,484	4,655	2,706	1,835
7. 芸術	8. 言語	9. 文学	E. 絵本	C. 紙芝居	合計	
2,847	951	21,724	33,082	2,392	77,714	

④ 児童書別置資料内訳

(単位：点)

L. 郷土	R. 参考	D. 大活字	Y. 洋書	T. 点字	合計
223	1,136	46	1,172	13	2,590

⑤ 図書保管場所別内訳

(単位：点)

項目	開架	閉架	分館保管	合計
一般書	92,877	55,680	63,376	211,933
児童書	36,777	8,394	35,133	80,304
その他	5,963	2,587	3,429	11,979
合計	135,617	66,661	101,938	304,216

(令和8年3月31日現在)

(3) 視聴覚資料

(単位：点)

DVD	ビデオテープ	CD	カセットテープ	CD-R、DVD-R	合計
4,351	98	3,513	155	49	8,166

2. 分館蔵書数

(単位：点)

	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野	朝日	高根	国府	上宝	合計
一般書	11,085	5,626	4,907	8,308	7,314	2,610	696	14,722	8,108	63,376
児童書	6,052	4,094	3,113	4,429	3,471	2,144	479	6,998	4,353	35,133
その他	807	318	435	389	344	195	112	511	318	3,429
合計	17,944	10,038	8,455	13,126	11,129	4,949	1,287	22,231	12,779	101,938

3. 全館購入内訳（登録資料分）

(1) 図書

① 種類別内訳

(単位：点)

項目	一般書	児童書	合計
令和7年度	7,630	2,799	10,429
令和6年度	8,003	2,382	10,385
増減	△373	417	44

② 一般書区分別内訳

(単位：点)

0. 総記	1. 哲学	2. 歴史	3. 社会科学	4. 自然科学	5. 技術	6. 産業
264	262	744	1,125	759	817	362
7. 芸術	8. 言語	9. 文学	B. 文庫	D. 大活字	L. 郷土	R. 参考
574	127	1,764	493	90	29	190
Y. 洋書	合計					
30	7,630					

③ 児童書区分別内訳

(単位：点)

0. 総記	1. 哲学	2. 歴史	3. 社会科学	4. 自然科学	5. 技術	6. 産業
55	25	127	216	248	131	72
7. 芸術	8. 言語	9. 文学	E. 絵本	C. 紙芝居	L. 郷土	R. 参考
146	28	488	1,167	41	0	19
D. 大活字	Y. 洋書	合計				
8	28	2,799				

④ 施設別内訳

(単位：点)

項目	本館	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野
一般書	4,627	532	284	307	307	332
児童書	1,837	113	88	69	261	105
合計	6,464	645	372	376	568	437
朝日	高根	国府	上宝	合計		
150	84	675	332	7,630		
50	18	184	74	2,799		
200	102	859	406	10,429		

(2) 視聴覚資料

(単位：点)

項目	ビデオ・DVD	CD・カセット	CD-R、DVD-R	合計
令和7年度	170	49	0	219
令和6年度	147	79	0	226
増減	23	△30	—	△7

(3) 雑誌施設別内訳

(単位：点)

項目	本館	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野
タイトル数	87	10	6	6	9	8
数量	1,066	96	115	64	76	94
朝日	高根	国府	上宝	合計		
4	4	11	7	152		
26	35	101	87	1,760		

※ タイトルの合計は、延べ数である。

4. 除籍内訳

① 種類別内訳

(単位:点)

一般書	児童書	雑誌	視聴覚資料	おもちゃ	近代文学館	合計
9,983	2,717	2,099	204	9	0	15,012

5. 寄贈内訳

① 施設別内訳

(単位:点)

項目	本館	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野	朝日	高根	国府	上宝	合計
一般書	225	1	4	10	4	8	1	3	25	3	284
児童書	32	3	2	3	3	2	1	16	5	3	70
合計	257	4	6	13	7	10	2	19	30	6	354

項目	全館
雑誌	154
AV	24

6. 利用者登録等内訳

(1) 新規・登録区分

項目	個人	再発行	相互貸借	団体	合計
件数(件)	824	319	0	9	1,152
構成比(%)	71.5	27.7	0	0.8	100

(2) 新規・個人年齢別登録状況

項目	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	青年層	中年層	高年層	合計
人数(人)	124	165	23	14	282	114	102	824
構成比(%)	15.0	20.0	2.8	1.7	34.2	13.8	12.4	100
前年度比(%)	95.4	87.8	104.5	58.3	100.7	82.0	94.4	92.5

※ 番号置換、再発行(件)を除く。

※ 乳幼児:0~6歳、小学生:7~12歳、中学生:13~15歳、高校生等:16~18歳、青年層:19~39歳、中年層:40~59歳、高年層:60歳以上

(3) 登録区分別登録数の推移

(単位:件)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
個人	936	891	824
番号置換	3	1	0
再発行	412	368	319
相互貸借	0	0	0
団体	6	8	9
合計	1,357	1,268	1,152

(4) 個人・年齢別総登録者数(令和8年3月末現在)

項目	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	青年層	中年層	高年層	合計
人数(人)	442	1,389	553	422	3,702	4,755	4,425	15,688
構成比(%)	2.8	8.9	3.5	2.7	23.6	30.3	28.2	100

(5) 個人・年齢別実利用者数

項目	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	青年層	中年層	高年層	合計
人数(人)	351	721	174	145	1,731	2,643	2,687	8,452
構成比(%)	4.2	8.5	2.1	1.7	20.5	31.3	31.8	100
前年度比(%)	97.8	92.8	88.3	91.8	97.6	97.7	102.1	98.3

※ 実利用者:1年間に1冊以上借りた人

※ うち自治体内実利用者数 8,039人 自治体内実利用者うち児童数 1,042人

7. 利用状況（本館）

（1）月別利用状況

（単位：日、人、点、件）

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	29	16,628	9,657	26,157	22,225	3,116	117	293
5	30	17,821	10,321	27,647	22,690	3,146	94	286
6	28	17,957	9,944	26,534	21,865	3,468	89	241
7	30	19,522	10,593	28,748	23,091	3,141	88	307
8	30	22,318	10,619	28,639	24,684	3,115	90	347
9	29	19,767	9,548	25,399	20,974	3,209	101	247
10	30	18,443	9,754	25,478	21,048	3,371	65	245
11	30	20,586	9,888	26,803	21,562	3,175	76	310
12	22	12,945	8,143	22,481	17,470	3,034	62	227
1	27	16,347	10,099	27,190	22,905	3,301	73	269
2	27	18,473	10,229	27,687	22,290	3,434	65	254
3	30	18,561	10,825	28,678	24,125	3,263	75	286
合計	342	219,368	119,620	321,441	264,929	38,773	995	3,312

※個人貸出点数 306,860点 うち児童86,727点、自治体内297,330点、自治体内うち児童84,875点

（2）時間別利用状況

項目	9時30分～12時00分	12時00分～16時00分	16時00分～19時00分	19時00分～21時30分	合計
人数（人）	39,653	42,163	24,355	13,449	119,620
構成比（%）	33.1	35.2	20.4	11.2	100
1日平均	116	123	71	39	350
前年度比増減	3,001	2,773	1,742	1,008	8,524
貸出点数（点）	103,753	122,363	68,454	26,871	321,441
構成比（%）	32.3	38.1	21.3	8.4	100
1日平均	303	358	200	79	940
前年度比増減	4,887	5,450	2,962	564	13,863

（3）資料別利用状況

（単位：点）

年度	種類	一般書	児童書	雑誌	視聴覚資料	おもちゃ	その他	合計
令和7年度	貸出点数	200,880	96,144	12,480	10,140	556	1,241	321,441
令和6年度	貸出点数	192,340	90,983	11,837	10,808	754	856	307,578
年度比較（増減）	増減	8,540	5,161	643	△668	△198	385	13,863

（4）年齢別利用状況

項目	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	青年層	中年層	高年層	合計
人数（人）	4,729	6,831	1,242	765	19,175	37,300	45,421	115,463
構成比（%）	4.1	5.9	1.1	0.7	16.6	32.3	39.3	100
前年度比増減	217	310	275	△59	1,123	1,698	3,569	7,133
貸出点数（点）	18,500	24,662	4,261	2,023	49,057	88,433	119,507	306,443
構成比（%）	6.0	8.0	1.4	0.7	16.0	28.9	39	100
前年度比増減	1,196	473	878	234	△1,419	2,599	4,442	8,403

※ 団体貸出、相互貸借等の他館貸出を除く。

※ 乳幼児：0～6歳、小学生：7～12歳、中学生：13～15歳、高校生等：16～18歳、青年層：19～39歳、中年層：40～59歳、

※ 高年層：60歳以上

8. 利用状況（分館）

（1）丹生川分館

（単位：日、人、点、件）

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	645	120	489	554	56	5	1
5	27	771	132	494	643	89	2	2
6	26	759	114	398	536	63	2	2
7	28	1,166	177	612	583	69	2	11
8	29	1,330	155	575	747	93	2	8
9	26	1,051	104	424	574	44	1	7
10	29	1,018	126	405	524	62	2	5
11	27	1,038	128	459	559	66	0	6
12	25	997	159	492	575	99	1	10
1	26	989	133	468	486	53	1	10
2	21	824	116	409	525	56	1	10
3	28	901	134	468	612	84	3	8
合計	319	11,489	1,598	5,693	6,918	834	22	80

※個人貸出点数 5,032点 うち児童2,021点、自治体内4,867点、自治体内うち児童1,983点

（2）清見分館

（単位：日、人、点、件）

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	811	213	628	847	93	0	8
5	27	660	229	613	659	80	2	5
6	26	804	226	674	798	128	0	14
7	28	1,310	223	670	783	86	2	11
8	29	1,169	232	632	840	105	1	7
9	26	894	217	698	743	77	1	14
10	29	1,006	232	679	808	113	1	2
11	27	831	199	633	719	91	0	3
12	25	680	224	673	792	89	1	4
1	26	919	232	704	887	109	1	6
2	21	823	205	596	810	100	2	11
3	28	821	252	761	912	90	2	8
合計	319	10,728	2,684	7,961	9,598	1,161	13	93

※個人貸出点数 7,031点 うち児童2,739点、自治体内6,896点、自治体内うち児童2,712点

(3) 荘川分館

(単位:日,人,点,件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	708	58	154	152	27	3	6
5	27	655	78	223	194	51	2	8
6	26	650	63	152	227	49	2	1
7	29	901	81	231	191	82	1	2
8	28	1,111	76	234	257	60	1	4
9	26	763	56	147	172	49	0	1
10	28	691	65	149	130	49	0	1
11	27	709	60	177	193	27	0	0
12	25	652	55	159	172	66	0	3
1	25	658	57	135	154	28	1	0
2	24	570	61	156	151	49	0	0
3	23	659	59	167	179	72	0	3
合計	315	8,727	769	2,084	2,172	609	10	29

※個人貸出点数 1,568点 うち児童 502点、自治体内 1,479点、自治体内うち児童 489点

(4) 一之宮分館

(単位:日,人,点,件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	26	1,218	151	489	552	55	2	19
5	26	1,219	137	501	532	80	4	7
6	25	1,585	124	426	448	54	1	9
7	27	1,883	126	465	461	58	1	6
8	27	1,948	110	427	590	52	1	7
9	25	1,410	121	461	492	50	2	9
10	27	1,288	134	466	556	78	0	11
11	26	1,440	158	526	483	54	0	16
12	24	1,342	130	498	624	64	0	10
1	24	1,158	134	499	504	63	2	9
2	20	994	141	463	500	59	6	9
3	26	1,323	144	505	474	61	3	16
合計	303	16,808	1,610	5,726	6,216	728	22	128

※個人貸出点数 4,924点 うち児童 2,840点、自治体内 4,791点、自治体内うち児童 2,760点

(5) 久々野分館

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	1,050	86	344	302	49	1	3
5	28	1,197	127	458	527	113	2	1
6	25	1,060	101	413	374	47	1	1
7	29	1,669	134	531	594	130	6	3
8	29	1,462	114	464	428	58	1	6
9	26	1,437	129	670	596	165	3	4
10	28	1,359	104	403	394	48	1	1
11	28	1,670	123	497	612	167	0	2
12	24	1,735	130	493	450	130	1	3
1	25	1,432	111	525	564	91	1	0
2	25	1,558	115	527	495	50	1	3
3	22	1,192	128	395	479	62	2	1
合計	316	16,821	1,402	5,720	5,815	1,110	20	28

※個人貸出点数 3,569点 うち児童1,344点、自治体内3,437点、自治体内うち児童1,300点

(6) 朝日分館

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	97	66	197	257	35	0	0
5	27	79	67	185	228	52	0	0
6	26	77	67	199	238	35	1	2
7	28	89	60	225	274	37	0	1
8	29	113	52	191	269	6	0	1
9	26	84	58	179	253	19	0	0
10	29	111	67	234	265	13	0	1
11	27	78	53	200	260	11	0	1
12	25	67	48	184	207	74	0	0
1	26	66	79	186	222	25	0	0
2	21	65	60	237	291	28	0	1
3	28	89	74	218	300	18	0	1
合計	319	1,015	751	2,435	3,064	353	1	8

※個人貸出点数 1,845点 うち児童780点、自治体内1,839点、自治体内うち児童780点

(7) 高根分館

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	24	13	5	10	0	0	0	0
5	27	32	15	38	16	4	0	0
6	26	18	8	21	11	3	0	0
7	29	24	15	43	37	0	0	0
8	28	24	12	26	26	9	1	0
9	26	25	6	21	25	1	0	0
10	28	37	8	19	37	1	0	0
11	27	21	4	13	3	0	0	0
12	25	13	8	35	39	0	0	0
1	25	14	9	44	46	0	0	0
2	24	16	6	32	56	6	0	0
3	23	7	3	7	17	0	0	0
合計	312	244	99	309	313	24	1	0

※個人貸出点数 231点 うち児童29点、自治体内228点、自治体内うち児童29点

(8) 国府分館

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	3,103	426	1,417	1,524	60	9	4
5	27	3,699	453	1,473	1,645	114	3	8
6	26	3,812	457	1,453	1,606	133	3	7
7	28	4,632	455	1,321	1,396	93	9	21
8	29	4,609	508	1,539	1,866	74	4	13
9	26	4,441	445	1,471	1,500	67	3	8
10	29	4,012	463	1,530	1,738	142	2	10
11	27	5,345	427	1,331	1,519	43	6	11
12	25	3,760	450	1,564	1,573	76	4	9
1	26	3,799	448	1,471	1,605	59	4	6
2	21	3,784	494	1,590	1,763	68	7	10
3	28	3,806	487	1,606	1,774	75	2	12
合計	319	48,802	5,513	17,766	19,509	1,004	56	119

※個人貸出点数 16,738点 うち児童4,788点、自治体内14,505点、自治体内うち児童4,426点

(9) 上宝分館

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	27	714	52	193	255	3	2	1
5	27	711	39	124	158	31	0	1
6	26	778	69	208	194	22	2	2
7	29	859	61	150	219	24	0	1
8	28	1,113	55	171	167	41	0	1
9	26	828	64	190	158	22	0	1
10	28	979	60	175	211	18	0	0
11	27	725	44	131	209	27	1	1
12	25	695	51	162	198	21	2	4
1	25	645	77	205	223	17	1	3
2	24	779	84	262	294	11	1	1
3	23	806	66	213	298	30	3	1
合計	315	9,632	722	2,184	2,584	267	12	17

※個人貸出点数 1,968点 うち児童 521点、自治体内 1,785点、自治体内うち児童 496点

(10) 分館合計

(単位:日, 人, 点, 件)

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	—	8,359	1,177	3,921	4,443	378	22	42
5	—	9,023	1,277	4,109	4,602	614	15	32
6	—	9,543	1,229	3,944	4,432	534	12	38
7	—	12,533	1,332	4,248	4,538	579	21	56
8	—	12,879	1,314	4,259	5,190	498	11	47
9	—	10,933	1,200	4,261	4,513	494	10	44
10	—	10,501	1,259	4,060	4,663	524	6	31
11	—	11,857	1,196	3,967	4,557	486	7	40
12	—	9,941	1,255	4,260	4,630	619	9	43
1	—	9,680	1,280	4,237	4,691	445	11	34
2	—	9,413	1,282	4,272	4,885	427	18	45
3	—	9,604	1,347	4,340	5,045	492	15	50
合計	—	124,266	15,148	49,878	56,189	6,090	157	502
前年度比増減	—	△4,843	△487	191	1,739	1,343	△37	△50

9. 利用状況（全館）

（1）全館合計

（単位：日、人、点、件）

月	日数	入館者数	利用者数	貸出点数	返却点数	予約件数	登録者数	レファレンス件数
4	29	24,987	10,834	30,078	26,668	3,494	139	335
5	30	26,844	11,598	31,756	27,292	3,760	109	318
6	28	27,500	11,173	30,478	26,297	4,002	101	279
7	30	32,055	11,925	32,996	27,629	3,720	109	363
8	30	35,197	11,933	32,898	29,874	3,613	101	394
9	29	30,700	10,748	29,660	25,487	3,703	111	291
10	30	28,944	11,013	29,538	25,711	3,895	71	276
11	30	32,443	11,084	30,770	26,119	3,661	83	350
12	22	22,886	9,398	26,741	22,100	3,653	71	270
1	27	26,027	11,379	31,427	27,596	3,746	84	303
2	27	27,886	11,511	31,959	27,175	3,861	83	299
3	30	28,165	12,172	33,018	29,170	3,755	90	336
合計	342	343,634	134,768	371,319	321,118	44,863	1,152	3,814
前年度比増減	6	1,158	8,037	14,054	7,847	4,323	△116	△66
月平均	29	28,636	11,231	30,943	26,760	3,739	96	318
前年度比増減	1	96	670	1,171	654	361	△10	△5
日平均	—	1,005	394	1,086	939	131	3	11
前年度比増減	—	△14	17	23	7	10	△1	△1

※ 開館日数は本館（煥章館）の開館日数である。

（2）年齢別利用状況

項目	乳幼児	小学生	中学生	高校生等	青年層	中年層	高年層	合計
人数（人）	5,469	7,598	1,404	848	21,285	41,528	51,512	129,644
構成比（％）	4.2	5.9	1.1	0.7	16.4	32.0	39.7	100
前年度比増減	223	169	245	△55	1,127	1,634	3,065	6,408
貸出点数（点）	21,709	28,208	4,820	2,254	56,384	101,024	134,950	349,349
構成比（％）	6.2	8.1	1.4	0.6	16.1	28.9	38.6	100
前年度比増減	1,142	273	801	293	△1,060	2,525	2,980	6,954

※ 団体貸出、相互貸借等の他館貸出を除く。

※ 乳幼児：0～6歳、小学生：7～12歳、中学生：13～15歳、高校生等：16～18歳、青年層：19～39歳、中年層：40～59歳、

※ 高年層：60歳以上

（3）各種サービス指標

（単位：点/人、回）

指標項目	算出方法	令和6年度	令和7年度	増減
住民1人当りの貸出点数	貸出点数÷総人口	4.06	4.17	0.11
蔵書回転率	貸出点数÷蔵書数	1.08	1.11	0.03
住民1人当りの蔵書数	蔵書数÷総人口	3.74	3.76	0.02

※ 算出に用いた貸出点数は、高山市域内の貸出点数（337,157点）である。

※ 総人口は各年度末の人口を使用（令和7年度：80,885人）

※ 蔵書数（令和7年度：304,216点）

○高山市図書館の沿革

- 明治33. 5 高山町会において、福田吉郎兵衛外12名が建議した東宮殿下御成婚記念事業として高山町に通俗図書館を建設する件について、有志者で建設する場合には、町が費用の一部を補助することを決定する。
38. 11 大野郡中部教育会（以下「中部教育会」という。）は、土川宗佐衛門、上木甚四郎、福寿滝蔵、柿下清六、平田鈴吉、田中貢太郎、広瀬亀之助、西本達郎の8名を図書館創立委員に任命し、高山町に図書館を設置する件について諮問した。
39. 2 中部教育会は、図書館創立委員の答申に基づいて図書館設立の趣意書を作製、頒布し、有志者の賛助を求めると設置の端緒を開く。
中部教育会は、暫定的に図書館を高山女子小学校（名田町5丁目）内に置くこととし、「戦捷記念高山図書館」と名称する。
42. 高山町教育会（明治41年「中部教育会」を「高山町教育会」に改称）の事業拡張の気運に乗じ、図書購入費として毎年約140円を支出することとなった。
大正 元 荏名文庫遺書約1,400冊を350円で購入。当年度末の蔵書は、2,291冊となる。
3. 11 御大典記念事業として城山に大野郡公会堂（木造二階建）を建設し（堀端町、現在の城山保育園の場所）、階上に図書館を移す。なお、所管は、高山町教育会から大野郡教育会となる。
4. 4 「大野郡教育会図書館」の落成式を行なう。
5. 4 この月の17日より夜間の開館を始める。
12. 4 郡制の廃止に伴って高山町へ移管し、「高山町図書館」と改称する。
- 昭和 4. 高山町教育会は、所蔵する荏名文庫の散逸を防ぐため、資料の整理・分類、専用書架の設置、目録の作製等を行なう。
5. 2 創設以来、順調に発展し、文部省から成績優良の選奨を受ける。
- 昭和 5. 9 所蔵図書約800冊について目録を作製し、頒布する。
6. 4 高山町大字三町の塚越正之助氏から図書の寄贈を受ける。
閲覧人数が前年度より、5,993人増加する。
- | 項目 | 昭和5年度 | 昭和6年度 | 昭和7年度 |
|------|--------|---------|---------|
| 開館日数 | 283日 | 289日 | 291日 |
| 閲覧人数 | 4,769人 | 10,762人 | 10,336人 |
18. 4 運営を教育会から高山市へ移管する。新たに館規則を定め、職員を配置する。当時の蔵書は5,539冊であり、10,000冊を目標に増書運動を起こす。そのため1ヶ月20銭の会費で会員を募り、図書とともに利用者の増加を図る。
19. 8 図書館が婦人読書会を開く。市内の各婦人部長宅へ隔月ごとに図書を1冊配り、これを婦人達が輪読する方式であった。なお会費は、隔月で1円50銭であった。
24. 2 高山市公民館が旧大野郡公会堂に移転し、図書館は公民館との併設館となる。
読書サークル「紙魚の会」が発足する。
27. 10 岐阜県図書館協会（昭和46年4月に「岐阜県公共図書館協議会」に改称）に加盟する。
28. 12 上一之町（現在の飛騨高山まちの博物館の場所）に郷土館・図書館の併設館を建設し、市公民館から移転する。
44. 4 「高山市図書館の設置及び管理に関する条例」を制定し、施行する。
- 昭和44. 8 当時の高山市市民会館の別棟（昭和町2丁目、現在の市総合福祉センターの場所）に移転し、1階を書庫、2階を閲覧室とする。
50. 10 日本図書館協会に加盟する。
51. 11 市制施行40周年記念事業として、高山食品卸市場(株)から敷地、建物を買収して図書館に改修し、移転する。（上二之町）総事業費は40,508千円であった。なお、土蔵造りの書庫は、大坂屋森七醤油店社長森彰氏の文庫（ふみぐら）で、同氏より寄贈されたものである。
北村兵四郎氏（森下町1丁目、元・大正火災海上保険(株)常務取締役、昭和54年没）より、蔵書約5,500冊の寄贈を受け、「北村文庫」を設置する。
52. 1 古池美智子氏より古池信三氏（元・郵政大臣、高山市名誉市民、昭和58年没）の蔵書882冊を寄贈を受け、「古池文庫」を設置する。以後、古池美智子氏よりは昭和60年まで17次にわたり、総数2,767冊の寄贈を受ける。
- 昭和52. 4 コピー機を設置し、図書のコピー・サービスを始める。
54. 1 故・牧野英一博士（昭和50年文化勲章受賞者、高山市名誉市民）の遺族より、氏の蔵書2,524冊の寄贈を受け、「牧野文庫」を設置する。
56. 10 「高山市図書館身体障害者郵送貸出要綱」を制定し、身体障がい者等に対する図書の郵送サービスを行なう。
59. 影絵サークル「だいだらぼっち」が発足する。
59. 12 古池美智子氏から図書購入費として3,000千円の寄付を受ける。
60. 朗読グループ「アンリの会」が発足する。
- 昭和60. 1 前年の古池美智子氏の寄付金を基に「古池文庫」として一般書架に配架する。
62. 読み聞かせグループ「たんぼぼの会」が発足する。

- 作業ボランティア「ひばりの会」が発足する。
- 昭和62. 4 「高山市移動図書館車巡回日時及びステーションの設置基準」を制定する。
- 昭和62. 7 移動図書館車「やまびこ号」を購入し、移動図書館を始める。積載冊数は1,700冊であった。
- 昭和62. 10 市の機構改革により、所管が市教委の社会教育課から文化課となる。
63. 2 利用者の便宜のため、遺族の了解により「北村文庫」を一般書架へ配架し、「北村文庫」を廃止する。
- 平成 元. 2 「高山市図書館の資料収集基準」を制定する。
- 平成 元. 9 国立国会図書館から、当館に対する図書貸出の承認を受ける。
2. 8 高山市生涯学習推進会議が高山市生涯学習基本構想を策定し、市に対して生涯学習拠点施設の必要性を提起する。
- 平成 2. 12 本館及び移動図書館の図書貸出業務等を電算化する。
3. 3 一般閲覧室に拡大読書器（高山社会福祉事業協力会より寄贈）を設置する。
4. 3 「高山市図書館蔵書目録第1号」（土蔵所蔵分）を刊行する。
5. 手作り絵本の会「紙ひこうき」が発足する。
- 平成 5. 4 開館時間を次のように変更する。
- | 項目 | 火～金曜日 | 土曜日 | 日曜日 | 備考 |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|
| 改正前 | 午前9時～午後6時 | 午後1時～午後5時 | 午前9時～午後5時 | 児童は午後5時まで |
| 改正後 | 午前10時～午後6時 | 午前9時～午後5時 | 従来と同じ | 〃 |
- 移動図書館車の土曜日の運行を午後の半日から全日とする。又、貸出ステーションを3箇所増やし、27箇所とする。
7. 3 身体障がい者、高齢者用に1階の階段に階段昇降機を設置する。
- 平成 7. 4 開館時間を次のように変更する。
- | 項目 | 火～金曜日 | 土曜日 | 日曜日 | 備考 |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|
| 改正前 | 午前10時～午後6時 | 午前9時～午後5時 | 午前9時～午後5時 | 児童は午後5時まで |
| 改正後 | 午前10時～午後8時 | 午前9時～午後7時 | 午前9時～午後7時 | 〃 |
- 平成 7. 8 戦後50年記念行事として「平和図書」を特集し、266冊を展示する。
8. 4 市の機構改革により、所管が市教委の文化課から社会教育課となる。
- 平成 8. 5 古典文学講座として源氏物語鑑賞講座、漢詩鑑賞講座を開設する。
- 平成 8. 8 第1回目の不要図書リサイクルを実施する。
9. 2 高山市議会庁舎跡地利用特別委員会において、旧市役所跡地を学習ゾーンとする整備構想を決定する。
- 平成 9. 3 岐阜県生涯学習情報提供システムの端末を図書館及び文化会館に設置する。
- 平成 9. 10 館内を改修し、図書の大規模な配架替を行う。
10. 1 高山市生涯学習推進会議が生涯学習に関する意識調査を実施し、新図書館建設に関する市民要望を集約する。
- 平成10. 5 貸出点数を1人5点から10点に変更する。
- 平成10. 7 コピー機をカラーコピー機に更新する。
11. 7 「高山市図書館の資料除籍基準」を制定する。
12. 3 市及び市教委が高山市生涯学習振興計画を策定し、生涯学習拠点施設の整備構想を提議する。
- 平成12. 4 市の機構改革により、所管が市教委の社会教育課から生涯学習課になる。
- 図書館ボランティア「としょかん友の会」が発足する。
- 平成12. 5 源氏物語入門コースを開設する。源氏物語鑑賞講座、源氏物語入門コース、漢詩鑑賞講座の3講座となった。
- 平成12. 9 移動図書館「やまびこ号」多治見市より無償譲渡を受け、更新する。積載冊数は3,000冊となる。
13. 1 IT補助事業によりパソコン21台購入。インターネット講座を開設する。
- 平成13. 5 源氏物語入門第3期コースを開設する。源氏物語の講座は3講座となる。
14. 2 高山市が「図書館を中核とした生涯学習施設建設基本構想」を策定し、新図書館建設の具体化を推進する。
- 平成14. 3 上記の基本構想に基づいて、新図書館建設のプロポーザル審査会を開催する。
- 住宅、インテリア、ガーデニングなどの「リビング」コーナーをつくり、約1,000点を集積配架する。
- 平成14. 12 新図書館の建設工事が始まる。
15. 6 読み聞かせグループ「かるがもおはなし隊」が発足する。
- 平成15. 9 移動図書館車の運行を廃止する。
- 平成15. 11 この月より新館への移転準備のため閉館とし、資料の整理作業を行う。
- 平成15. 12 新たに「高山市図書館の設置及び管理に関する条例」、同施行規則が制定される。
16. 1 馬場町2丁目に新図書館が高山市近代文学館、高山市生涯学習ホールを併設した複合館として完成する。施設は鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積3,300平方メートル、延べ床面積3,902平方メートル。総事業費は、建設費・設備費が16億円、図書購入費が1億円で合計17億円であった。
- 平成16. 3 源氏物語の1講座が「源氏物語を読む会」として自主的なサークルに移行する。
- 平成16. 4 23日の「全国子ども読書の日」に合せ、新館をオープンする。名称を高山市図書館「煥章館」と

する。開館日数は通常の年で343日、開館時間は午前9時30分から午後9時30分までとする。開館時の蔵書数は175千点であった。新館の一部業務委託が始まる。 ※ 委託先・(株)図書館流通センター
子育て支援施策として「マミィ&ダディ」コーナーを設置し、出産・育児関係の資料を特集配架する。

- 平成16. 煥章館ボランティアが発足する。
17. 7 読み聞かせグループ「ごんべいさんの会」が発足する。
17. 2 高山市が近隣の9町村と合併したことにより、旧丹生川村図書館を分館とし、また8町村の図書室を分室とする。
- 平成17. 9 29日に新館のオープン以来、来館者が50万人に達し、記念セレモニーを行う。(開館499日目)
18. 3 源氏物語2講座と漢詩講座がそれぞれ自主的なサークル活動へと発展的に解消する。
※ 「源氏物語の原文に親しむ会」(桐山組)、「源氏物語の原文に親しむ会」(高橋組)、
「漢詩鑑賞講座」
読み聞かせグループ「たんぼぼの会」、図書館ボランティア「としょかん友の会」が解散及び作業ボランティア「ひばりの会」が撤退する。
読み聞かせグループ「おはなしネット・ことだま」が発足する。

《指定管理者制度導入後の沿革》

- 平成18. 4 (株)飛騨高山テレエフエムの放送「キープアップウィズかんしょうかん」が始まる。
地方自治法の一部改正に伴い市図書館の管理運営に指定管理者制度を導入する。
※ 指定管理者・(株)図書館流通センター
(株)図書館流通センターが管理運営業務を開始する。
- 平成18. 5 「あゆみ会」(点訳グループ)と「高山音訳サークルあめんぼの会」がボランティアグループとして加入する。
図書館だより「びぶろす」を創刊する。
ボランティアを募集する。
- 平成18. 6 「高山市図書館資料収集要綱」及び「高山市図書館資料選書委員会運営要綱」が制定され、施行される。
古典を中心とした文学講座、CD コンサート、郷土史講座など「煥章館セミナー」が始まる。
高山市ブックスタート事業が開始され、本館が配本所の一つとなる。
ボランティア説明会を開催し、新たな活動を開始する。
- 平成18. 9 新着図書案内「本の小径」を創刊する。
- 平成18. 10 読み聞かせグループ「おむすびころりん」が発足する。
県公図協飛騨地区理事館として研修会「学校図書館支援ー子どもの読書活動をすすめるために・その1」を実施する。
- 平成18. 11 研修会「学校図書館支援ー子どもの読書活動をすすめるために・その2」を実施する。
19. 2 10日に新館のオープン以来、来館者が100万人に達し、記念セレモニーを行う。(開館961日目)
分館室での「飛騨の民話を聞く集い」が始まる。
- 平成19. 3 読書グループ「漢詩講座」が廃止となる。
- 平成19. 4 第1回読み聞かせグループ連絡協議会が開催される。
- 平成19. 6 荘川分館がオープンする。(荘川総合センター内に新設)
第1回高山市図書館ボランティア・サークル意見交流会が開催される。
- 平成19. 7 こどもとしょかん「きのくにだより」を創刊する。
高山市がインターネット予約サービスの充実化を図る。(9分館室での受取り可)
- 平成19. 9 「障がい者サービスについて」の策定により、バリアフリーの具体化を明示する。
- 平成19. 10 分館室での「ふるさと歴史講座」が始まる。
- 平成19. 12 十六銀行より創立130周年記念事業として図書の寄贈を受ける。
20. 1 第58回常陸宮杯中部日本スキー大会に伴い、常陸宮ご夫妻がご来館される。
読書グループ「英米文学を原書で読む会」が発足する。
- 平成20. 4 丹生川分館が支所内に改修移転する。
丹生川分館を除く8分館がすべて分館となる。
- 平成20. 5 OPAC利用推進キャンペーンを実施する。
- 平成20. 7 住民基本台帳カードと図書利用カードの併用化が始まる。
高山工業高等学校より、木製アンケートボックス16個が寄贈される。
- 平成20. 11 源氏物語千年紀記念4行事が行われる。
21. 1 清見分館が支所内に改修移転する。
- 平成21. 3 図書管理システムのバージョンアップが行われる。
全分館に図書管理システムと自動貸出機が設置、運用される。
障がい者サービス用機器デイジーが配置される。
- 平成21. 4 上宝分館が支所内に改修移転する
23日、新館オープン5周年記念式典を挙げる。
既存カセットのDAISY(デジタル録音図書の世界標準の情報システム)化を行う。
- 平成21. 7 わくわく図書館ビジット事業を始める。
国府分館、現在地に新施設建設のため休館(～平成23年度)。休館中は、市が図書コーナーを設けて、利用者への対応を行う。
- 平成21. 8 子どもの読書活動を推進・支援するために、高山市図書館と学校図書館等とが連携し、活動を行う
「高山市子どもの読書活動支援・図書館等連携協議会」の設立に参画する。
- 平成21. 11 高山工業高校より、木製パンフレットスタンドが寄贈される。
牧野文庫、北村文庫、小池文庫などの未登録資料のデータベース化作業を行う。(～12月)
6つの分館(丹生川、清見、荘川、一之宮、朝日、上宝)から「分館だより」(季刊)の発行を開始する。
22. 1 6日に新館オープン以来、来館者が200万人に達し、記念セレモニーを行う。(開館2,021日目)
松倉中学校の1・2年生10クラスにおいて、図書館職員が「変わる」をテーマにブックトークを行う。(児童サービス事業として、図書館初の試み)
資料のICタグ張替え作業を行う。(～2月)
市民課が、自動交付機ブース改修工事を行う。
- 平成22. 3 録音版図書案内「かんかこ通信」(DAISY版、カセット版)の製作、頒布を行う。
高山市図書館「煥章館」利用案内・調べものガイドブックを発刊する。

- 平成22. 4 図書館だより「びぶろす」を「図書館だより」に名称変更し、季刊発行を月刊発行とし、部数も大幅に増やす。
3週連続で短期のシリーズセミナー「歴史文学を語る『金森長近』」（全3回の講義）を実施する。23日（子ども読書の日）、煥章館6周年記念日に北稜中・宮中へ出張ブックトークを行う。
22. 5 市内小中学校ALT（外国語指導助手）による読み聞かせ、歌、ゲームなどを行う「英語でおはなし会 with ALT」が始まる。
「分館だより」を全ての分館で発行する。
- 平成22. 6 国民読書年・煥章館セミナー「古典文学講座・平家物語」「文学講座・万葉集講読」「郷土資料講座・田中大秀の『荏野集』を読む」「CDコンサート・ロシア、その風土、歴史と音楽」を開始する。（～10月）
- 平成22. 7 外国語絵本展を7月開催に変更。
利用者がお薦めの本を紹介するブックレビューの試みが始まる。（～11月）
- 平成22. 8 国民読書年・「ふるさと歴史・文化地域シリーズ講座」を開始する。（～平成23年1月）
国民読書年・「絵本作家 あきやまただし絵本ライブ&トーク」開催。
- 平成22. 10 日本経済新聞朝刊に煥章館が「子どものための図書館」として掲載される。
国民読書年・バリアフリー映画上映会開催。
- 平成22. 11 高山工業高校より、木製案内看板が寄贈される。
23. 3 「煥章館」の利用者パソコン新規更新、「煥章館」及び全分館に拡大読書器・返却ポストの新規設置、視聴覚機器の新規更新等される。
分館読み聞かせボランティア7団体に拡大。
- 平成23. 5 新・煥章館セミナー「市民の健康講座」シリーズを開始する。（～9月）
- 平成23. 6 煥章館セミナー「古典文学講座・平家物語（その2）」「文学講座・万葉集から古今集へ」「郷土資料講座・歌集『荏野集拾遺』を読む」を開始する。（～10月）
新・煥章館セミナー「よくわかる社会保険講座」シリーズを開始する。（～平成23年1月）
- 平成23. 7 国府分館リニューアル・オープン。
国府分館オープン記念事業を開催する。（～12月）
- 平成23. 9 各分館において、「ふるさと歴史・文化地域講座シリーズ パートII」を開始する。（～12月）
「絵本作家 村上康成氏講演会」開催。
- 平成23. 10 県公共図書館協議会職員集会在煥章館で開催される。
- 平成23. 11 日本薬学図書館協議会及び特定非営利活動法人日本医学図書館協会主催の地域連携シンポジウム「医療・健康情報を考える in たかやま」が煥章館を会場に開催される。
24. 2 県公図協飛騨地区理事館として研修会「公共図書館における情報リテラシー教育―実践のヒントを中心に―」を実施する。
- 平成24. 4 丹生川分館、清見分館に来館者カウンター機器を設置する。
- 平成24. 6 煥章館セミナー「古典文学講座・平家物語（その3）」「文学講座・万葉集と植物」「郷土資料講座・荏門の人たち（一）―富田礼彦―」（～10月）、同「市民の健康講座」シリーズ（～12月）、同「よくわかる税金講座」シリーズ（～平成25年1月）を開始する。
『夏の友(平成24年度版)』（発行：財団法人岐阜県校長会館）、『図書館雑誌2012/6（第106巻第6号）』（発行：社団法人日本図書館協会）に高山市図書館の紹介記事が掲載される。
荘川分館開館5周年を迎える。記念に、葉を配布。
- 平成24. 9 各分館において、「ふるさと歴史・文化地域講座シリーズ パートIII」を開始する。（～12月）
- 平成24. 10 「絵本作家 川端誠絵本ライブ&講演会」（飛騨高山文化芸術祭プレイベント）開催。
「朗読・民話の語り～山を愛し、木とともに生きる飛騨人の暮らし～」(飛騨高山文化芸術祭プレイベント)を開催する。（～平成25年1月）
- 平成24. 11 飛騨地域の4つのライオンズクラブ(高山・神岡・下呂・高山岳城)で構成する団体より図書館の寄贈を受ける。
- 平成24. 12 煥章館セミナー「郷土学習講座・大原騒動及び大原騒動以後」を実施する。（～平成25年2月）
25. 2 図書館活用講座「知ってトクするOPAC利用術」開催。
25. 3 「ふるさと歴史・文化地域講座シリーズ パートIII」の講義記録を報告書として作成、発行(300部)する。高山市図書館全館(本館・9分館)に設置し、閲覧、貸出に供するとともに、官公庁、公立図書館等関係機関及び地区社会教育団体等関係団体へ配布。
- 平成25. 4 上宝分館、久々野、一之宮分館に来館者カウンター機器を設置する。
読書サークル「むらさきの会」が「あけぼの会」に名称変更する。
丹生川分館改修移転5周年を迎える。記念に、葉を配布。
13日に新館オープン以来、来館者が300万人に達し、記念セレモニーを行う。(開館3,279日目)
23日に高山市図書館が平成25年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞する。
- 平成25. 5 煥章館セミナー「郷土学習講座・大原騒動について」(平成26年2月「天保のころ」)を実施する。
- 平成25. 6 煥章館セミナー「古典文学講座・平家物語（その4）」「文学講座・『新撰万葉集』とその後の文学」「郷土資料講座・荏門の人たち（二）―橘曙覧―」（～10月）、同「市民の健康講座シリーズ」（～平成26年2月）、同「木の文化と飛騨の家具講座」（～平成26年1月）を開始する。

- 読書推進事業として高山市教育委員会と共催で「まちの宝物を考えよう！」（～7月）を実施する。
- 平成25. 1 1 「どいかや講演会 千葉山暮らし、時々絵本」（飛騨高山文化芸術祭市民応援プロジェクト）開催。
- 2 6. 1 清見分館改修移転5周年を迎える。記念に、葉を配付。
- 平成26. 4 転入時期の市役所市民課窓口前スペースを借用しての図書館案内を実施。
- 上宝分館開館5周年を迎える。記念に、葉を配布。
- 23日、新館オープン10周年記念式典を開催する。
- 同日、図書館ボランティアのおはなしネット・ことだまが平成26年度子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞する。
- 平成26. 6 煥章館セミナー「古典文学講座・古事記」「文学講座・万葉集は鳥をどう歌ったか」「郷土資料講座・日記で読む飛騨の風景—江戸時代編—」（～10月）、同「市民の健康講座シリーズ」（～平成27年2月）を開始する。文学3講座については受講者へセミナー修了証を発行した。
- 読書推進事業として高山市教育委員会と共催で「まちの宝物を考えよう！」を実施する。
- 平成26. 7 分館（国府・上宝）において「市民の健康講座」（～9月）を実施する。
- 平成26. 8 読書推進事業として「ふるさと歴史・文化 地域講座シリーズ」（～10月）を実施する。
- 平成26. 1 1 ソーシャルメディア（Twitter・Facebook）の運用を開始する。
- 「絵本作家 杉山亮氏講演会」開催。
- 2 7. 2 新図書館システム更新導入に伴い、蔵書点検、新図書館システム研修を行うため、2週間（2/17～3/2）本館・分館の全館を休館とする。
- 平成27. 3 3日、新図書館システム運用を開始する。
- 31日、歴史資料デジタル情報検索・閲覧サービスを開始する。
- 平成27. 4 1日、国立国会図書館デジタル化資料（図書・古典籍・雑誌・博士論文約138万点）の閲覧・複写サービスを開始する（県内市町村の図書館で初）。
- 平成27. 5 市内の映画館が閉鎖したため映画上映会を拡充（年8回）。（～1月）
- 平成27. 6 煥章館セミナー「古典文学講座・土佐日記」「文学講座・万葉集と懐風藻—大津皇子の臨終の歌と詩—」「郷土資料講座・日記で読む飛騨の風景—幕末・維新編—」（～10月）、同「市民の健康講座シリーズ」（～平成28年2月）を開始する。
- 高山市教育委員会と共催で読書推進事業「まちの宝物を考えよう！」を実施する。
- 吸収冷温水機（2台）点検整備、自動制御機器取替工事等を実施。（～8月）
- 平成27. 7 分館（荘川・清見・丹生川）で「市民の健康講座」（～10月）を実施する。
- 「絵本作家 真珠まりこ氏講演会」開催。
- 平成27. 8 読書推進事業「ふるさと歴史・文化 地域講座シリーズ」（～10月）実施。
- 平成27. 1 1 第17回図書館総合展フォーラムの11/12開催「公共施設としての図書館とは～地方創生と公民連携の視点から考える～」において高山市図書館の事例をもとに「行革の地域経済学～指定管理者制度の地域への波及効果を例に～」を発表する。
- 2 8. 2 国府分館において職員の増員配置を開始する。
- 平成28. 4 映画上映会を拡充（月1回年12回、映画により昼夕実施も）。（～3月）
- 15日、煥章館における利用者の利便性の向上のため、Wi-Fiサービス（公衆無線LAN接続サービス）を開始する。
- 平成28. 6 煥章館セミナー「古典文学・枕草子」「文学講座・明治以降の日本文学を拾い読む」「郷土資料講座・日記で読む飛騨の風景—明治編—」（～10月）、同「市民の健康講座シリーズ」（～平成29年2月）を開始する。
- 高山市教育委員会との共催で、読書推進事業「まちの宝物を考えよう！」（年3回）を実施する。
- 平成28. 7 図書館活用ハンドブックを発行、配付。
- 分館（一之宮・久々野・朝日）で「市民の健康講座」（～10月）を実施する。
- 国府分館リニューアルオープン5周年を迎える。記念に、葉を配付し、記念イベント（上映会、朗読会、おはなし会）を実施。
- 20日、高山市子ども読書活動推進計画（第二次）の一環として、全館にて読書通帳の提供を開始する。
- 恐竜化石模型を展示。（7/20～8/30）
- 平成28. 8 「恐竜博士 真鍋真氏講演会」開催。
- 平成28. 1 0 イクメンおはなし会講座を開催。
- 図書館利用者の要望を受けて高山市図書館オリジナルエコトートバッグ（1,000枚作製）販売を開始する。
- 平成28. 1 2 図書館オリジナルエコトートバッグの売上金のうち10万円を年末助け合い義援金として、社会福祉法人中日新聞社会事業団を通して寄附。
- 2 9. 2 2日に、新館オープン以来、来館者が400万人に達し、記念セレモニーを行う。（開館4,372日目）
- 平成28. 5 荘川分館オープン10周年を迎える。記念に葉を配布。
- 平成28. 6 煥章館セミナー「古典文学・徒然草」「文学講座・明治以降の日本文学を拾い読む」「郷土資料講座・『飛州志』の世界—将軍吉宗への献上本を読む—」（～10月）、同「市民の健康講座シリーズ」（～平成30年2月）を開始する。
- 高山市教育委員会と共催で読書推進事業「まちの宝物を考えよう！」（年3回）を実施する。
- 分館（国府・上宝・荘川・清見）で「市民の健康講座」（～10月）を実施する。

- 7 飛騨高山ケーブルネットワーク TV にて「市民の健康講座シリーズ」の放映を開始する。
「図書館フェスティバル 2017」(10~12月)のイベントとして、「岐大落研 夏の落語会」を開催。
- 8 「間瀬なおかた講演会“絵本の中でゆっくりあそぼう~絵本の中のヒミツを教えます~”」開催。
- 9 飛騨高山ケーブルネットワーク TV にて利用案内、行事・特集案内の放送を開始する。
「図書館フェスティバル 2017」(10~12月)のイベントとして、「ひきだし 101冊」(展示)を開催。(9~12月)
- 1 0 図書館フェスティバル 2017 を全館にて開催。(10~12月)
- 1 1 県公図協飛騨地区理事館として研修会「地域資料(郷土資料)等を活用した幅広い市民層へのアプローチについて」を実施する。
- 1 2 図書館オリジナルエコトートバッグの売上金のうち 10 万円を年末助け合い義援金として、社会福祉法人中日新聞社会事業団を通して寄附。(寄附累計金額 20 万円)
- 3 0. 4 映画上映会を拡充して開始する。(月 1 回の定例実施のほか季節ごとに実施。全 29 回)
高山市子育て支援課の実施事業「子育て支援講座」と連携し、会場の提供及び読み聞かせ、資料リストの作成・配布を実施。(4・5・7・8・平成 31 年 1 月、全 6 回)
岐阜県歯科衛生士会「歯はっこくらぶ」と連携したおはなし会を開始(～平成 31 年 3 月)
特別展示配架「これなあに？」開始。(～平成 31 年 3 月)
- 5 緑のカーテン事業の煥章館南西面全面を継続して実施する。(アサガオ・ゴーヤーを植栽)
特別展示配架「図書館振興の月」「”こどもの本”総選挙」実施。
煥章館セミナー「市民の健康講座シリーズ」(～11 月)を開始する。また、飛騨高山ケーブルネットワーク TV にて同事業の放送を開始する。
調べ学習推進・支援事業として高山市立東小学校及び日枝中学校での岐阜県統計課による出前講座「データ活用講座」をコーディネート。(5～7 月、全 3 回)
特別展示配架「生物多様性の本箱」実施。(～6 月)
図書館フェスティバル 2018 のイベントとして飛騨春慶弦楽器ミニコンサートを実施。
- 6 特別展示配架「青春の 1 冊」実施。
煥章館セミナー「古典文学・蜻蛉日記」「文学講座・明治以降の日本文学を拾い読む」「郷土資料講座・『飛騨国中案内』の世界一飛騨をくまなく歩いた地役人」(～10 月)を開始する。
- 7 冊子『高山市図書館「図書館だより」People No.1~100』発行。
分館(朝日・一之宮・丹生川・久々野)で「市民の健康講座」(～10 月)を開催する。
特別展示配架「児童・YA 向け新聞紹介」を開始。(～平成 31 年 3 月)
特別展示配架「夏のチャレンジ応援コーナー」を実施。(～8 月)
- 8 高山市高年介護課の実施事業「認知症予防教室」「認知症サポーター養成講座」「ほっとする談話室」「成年後見制度講演会」と連携し、会場の提供及び関連資料展示、資料リストの作成・配布を実施。(8・9・11・平成 31 年 1 月、全 7 回)
特別展示配架「木と生きる私たちの暮らし」を実施。(協力：林野庁)
特別展示配架「アルザス・コルマル展」を実施。(～9 月)(協力：高山市海外戦略課)
- 9 特別展示配架「高山市平和の日」を実施。(協力：高山市協働推進課)
- 1 0 秋の高山祭ミニ講座を実施。
図書館フェスティバル 2018 を全館にて開催。(～12 月)
県公図協加盟館共同事業「スタンプラリー-清流の国ぎふの図書館をめぐる 2018」を実施。(～11 月)
- 1 2 県公図協飛騨地区理事館として視察研修を実施。富山市立図書館を視察。
- 3 1. 2 特別展示配架「外国語絵本展」「なぞとき～図書館クイズラリー」を実施。
- 3 高山市危機管理課の実施事業「避難所運営リーダーフォローアップ講座」と連携し、会場の提供及び読み聞かせ、資料リストの作成・配布を実施。
特別展示配架「CONNECTION MAPPING」を実施。
図書館オリジナルエコトートバッグの売上金のうち 35,058 円を東日本大震災義援金として、社会福祉法人中日新聞社会事業団を通して寄附。(寄附累計金額 235,058 円)
- 4 第四期指定管理が更新される。
「春の高山祭ミニ講座」「高山祭ミニ講座(新元号制定記念)」を実施。
高山市子育て支援課との連携事業「子育て支援事業」を実施。講座「虫歯予防を学びましょう」「離乳食・幼児食相談会～わいわい座談会～」にて会場の提供及び読み聞かせ、資料リストの作成・配布を実施。(4・7・8・令和 2 年 1 月、全 9 回)
- 令和 1. 5 特別展示配架「これなあに？」を実施。(～令和 2 年 3 月)
健康促進事業「みんなの健康シリーズ」(～11 月)を開始する。
高山市高年介護課との連携事業「介護支援事業」を実施。「認知症予防教室」「ほっとする談話室」「成年後見制度講演会」「相続と遺言講演会」「任意後見制度講演会」「9 月世界アルツハイマーデー月間企画 認知症の人の気持ちについて 講演会」にて会場の提供及び関連資料展示、資料リストの作成・配布を実施。(5・7・9・10・11、全 10 回)
- 6 特別展示配架「生物多様性の本箱」実施(～6 月)
煥章館セミナー「文学講座・明治以降の日本文学を拾い読む 島崎藤村」「郷土講座・『夢物語』

- の成立 一大原騒動の記録・物語」「世界史講座・いま、我々が見ているような世界があるのは、なぜだろう？～もう一度、世界の歴史にチャレンジしてみませんか？～」（～10月）を開始する。
- 7 飛騨教科書センター高山第2分館に指定。令和2年度用教科書展示会を実施。
特別展示配架「宇宙のへや」を実施。（～8月）
- 8 特別展示配架「夏のチャレンジ応援コーナー」を実施。（～8月）
- 9 ふるさと講座「飛騨と野球」を実施。
子どもの本に関する講演会「絵本作家えがしらみちこ先生と一緒に絵本をつくろう！」開催。
特別展示配架「みんなでツリーをつくろう！」を実施。（協力：高山市子育て支援課）
特別展示配架「高山市平和の日」を実施。（協力：高山市協働推進課）
- 10 特別展示配架「自殺予防特集」を実施。（協力：高山市健康推進課）（9・令和2年3月）
「秋の高山祭ミニ講座」を実施。
図書館フェスティバル2019を全館にて開催。（～11月）
県公図協加盟館共同事業「スタンプラリー清流の国ぎふの図書館をめぐるう・本を借りよう2019」
11 を実施。（～12月）
特別展示配架「飛騨の伝統工芸」を実施。
健康促進事業「生活習慣を見直そう！」を開催。
- 12 特別展示配架「外国語絵本展」を実施。（～12月）
特別展示配架「クリスマス・冬展示」を実施。関連事業として高山少年少女合唱団 ミニコンサートを開催。
- 令和2. 1 高根分館にておでかけ図書館「のくとい館」を開始。
特別展示配架「科学道100冊2019」を実施。（～2月）
ワークショップ「ロボット プログラミング ワークショップ ～ロボット「こくり」を動かそう～」
2 を実施。
図書館システム更新導入に伴い、蔵書点検、新図書館システム研修を行うため、2週間（2/18～3/2）
3 本館・分館の全館を休館とする。
特別展示配架「リアルサイズ古生物図鑑パネル展」を実施。
図書館オリジナルエコトートバッグの売上金のうち17,000円を東日本大震災復興支援金として、
社会福祉法人中日新聞社会事業団を通して寄附。（寄附累計金額252,058円）
- 4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため4/10岐阜県独自の非常事態宣言を発令。宣言発令を受け、4/12～5/6まで臨時休館。
4/16岐阜県が国の特定警戒都道府県に指定、臨時休館が4/12～5/31まで延長。
- 5 5/14岐阜県の緊急事態宣言が解除となり、臨時休館延長が緩和。5/18より開館。
図書館職員による本の楽しさ紹介～ブックトーク～を飛騨高山ケーブルTVにて配信。
5/18～返却資料の3日間保管等、感染拡大防止対策を実施。
5/18～7/31までイベントの自粛
- 6 警備会社が三和サービスより日本ガードに変更。
公衆無線LANサービス（無料Wi-Fi）開始。
みんなの健康シリーズを飛騨高山ケーブルTVやオンライン配信にて無人開催。
- 10 岐阜県民共済より絵本進呈。
図書館フェアを開催。
- 令和3. 1 1/16～2/7岐阜県が緊急事態宣言の対象区域となり、利用時間午前9時30分～午後8時に短縮。
2 緊急事態宣言の延長により、利用時間の短縮が2/7から2/28まで延長。
ふるさと講座「高山市図書館お引越し物語の巻」をYouTube動画配信。
3 春の高山祭 ミニ講座をYouTube動画配信。
3/1～3/7まで利用時間午前9時30分～午後9時までに変更。3/8より通常開館。
- 令和3. 4 23日図書館ボランティアかろがもおはなし隊が令和3年度子供の読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞。
同日、岐阜県「第4波」非常事態宣言を発令。4/26～5/11まで利用時間午前9時30分～午後8時に短縮。
5 高山市図書館等の事業紹介・広告宣伝のため「デジタルサイネージ」を設置。
7日岐阜県が国のまん延防止等重点措置の対象区域に指定。利用時間短縮が5/11から5/31まで延長。
11日からイベント（おはなし会・上映会）を中止。
15日まん延防止等重点区域の拡大、28日まん延防止等重点措置により利用時間短縮が5/31から6/20まで延長。
26日山下不動産より絵本や紙芝居用舞台進呈。高山信用金庫の私募債「たかしんSDGs 私募債 ちいきの未来」を活用。
- 6 21日より通常開館。
25日来館者500万人達成。500万人達成記念式典を開催。
27日中日新聞NIE展示、新聞切り抜き作品作り方教室を開催。
- 8 27日岐阜県が国の緊急事態宣言対象地域に指定。8/27～9/12まで臨時休館。9/12から9/30まで臨時休館延長。

- 9 9/30 国の緊急事態宣言が解除。
- 10 10/1 より通常開館。
図書館フェアを開催。
- 令和 4. 1 19 日 郷土作家米澤穂信氏著書「黒牢城」第 166 回直木賞受賞。「直木賞受賞記念特別展示」を設置。
21 日 岐阜県が国のまん延防止等重点措置区域に指定。1/21～2/13 まで利用時間が午前 9 時 30 分～午後 8 時に短縮。指定区域期間が延長となり利用時間短縮が 2/13 から 3/6 まで延長。
- 2 27 日 新型コロナウイルス感染症対策 業務継続計画の作成。
- 3 4 日より通常開館。おはなし会は中止。
- 令和 4. 4 おはなし会再開。
14 日「春の高山祭」3 年ぶりに開催。「春の高山祭ミニ講座」(YouTube 動画配信、リーフレット配布)を実施。
- 5 9 日 飛騨木工連合会より木製椅子「MOO-KUU 木のどうぶつの背のうえで」の寄贈を受ける。
- 7 6 日より高山市で「高山市図書館に関する WEB アンケート調査」を実施。
特別展示「地球研究所」を実施。
- 8 20 日 高山中央ロータリークラブがロータリー財団地区補助金申請実施事業「絵本を届ける運動ワークショップ：シャンティ国際ボランティア会」を開催。プレクストーク PTR3 を 2 台、車椅子 3 台の寄贈を受ける。
- 10 図書館フェアを開催。
1 階「交流スペース」の運用を開始。
- 令和 5. 1 13 日 岐阜県図書館出前講座「電子書籍の利用案内とオンラインでの登録方法」を開催。
新型コロナウイルス感染予防対策見直しにより「連絡票」の記入が不要となる。
- 2 国立国会図書館国際子ども図書館より外国語絵本を借用し、外国語絵本展スペシャル「絵本で知る世界の国々-IFLA からのおくりもの」を開催。
- 3 13 日 新型コロナウイルス感染予防対策見直しによりマスクの着用が任意となる。
「両面宿儺の伝説」YouTube 動画配信。
- 令和 5. 4 中日・東京新聞記事データベース、岐阜新聞電子縮刷版サービスの導入開始。
1 階「ファミリースペース」の運用を開始。
同フロアに「空町まちづくり協議会サテライト事務所」を開設。
- 7 30 日 高山中央ロータリークラブがロータリー財団地区補助金申請実施事業「いしかわこうじさんワークショップ・講演会」を開催。エプロンシアターとベビーカートの寄贈を受ける。
- 10 高山市役所にて SDGs ウィークに出店。パネル展示と SDGs 関連のパスファインダーを配布した。
図書館フェアを開催。
- 12 23 日 資産形成講座を開催。
27 日 高山市位山交流広場にて「一之宮分館 位山分室」の運用を開始。
6. 3 「安国寺のキツネ小僧」YouTube 動画配信。
- 令和 6. 4 第五期指定管理が更新される。
高山市の条例が改正され施設の有効利用がはじまる。
放送大学高山分室が高山市文化会館より高山市図書館「煥章館」へ移転。
高山市図書館ホームページにリクエストフォームを開設。
高山市図書館リーフレットの作成と配布。
23 日 開館 20 周年記念式典を開催。
- 6 英語でおはなし会を 4 年ぶりに開催。
- 8 団体貸出サービスを利用した読書促進事業(配送サービス)を開始。
- 9 モンデウスシアターの開催がはじまる。
放送大学連携講座「AI を身近に感じる公開講座」「環境工作セミナー」を開催。
- 10 図書館フェアで、特別展示「大公開!本屋の裏側、図書館の裏側」、「タカヤマブックマーケット～一箱古本市@煥章館～」などを開催。
7. 3 全館システム更新。システムのクラウド化を開始。
防犯カメラを 10 台設置。
「飛騨国分寺」YouTube 動画配信。
- 令和 7. 4 施設予約システム導入。
21 日高根多目的センター「たかね てらす」が完成し、センター内に高根分館が移転。
- 6 レファレンス協同データベース 一般公開第 1 号事例を登録。
24 日大雨により臨時休館となる。
27 日飛騨市図書館の視察受入。
情報コーナー、近代文学館の棚にキャスターを設置し移動可能とすることで、施設の活用のためのスペースを確保した。
- 8 16 日神岡高校の先生による動くロボットの体験イベントを開催。
展示「写真でたどる高山の 100 年」を開催し、以降高山市役所やはたちのつどい、市内中学校へ巡回展示した。
- 9 6 日～東海テレビの音読ひろば～庄野アナウンサーの音読教室を開催。

- 19 日岐阜県図書館の視察受入。
27 日芥川賞候補作家駒田隼也さんのトークイベントを開催。
- 10 図書館フェアにて、展示「くらべて発見！大きさ研究室」、きくちちきさん児童講演会等を開催。
- 12 高山市出身の数学者杉原厚吉氏の協力を得て、「見えているのに、ありえない。～杉原厚吉の立体錯視展～」を開催。
映画「国宝」の高山市上映を記念し、谷口裕和さんのサイン入り資料やポスターを展示。
生涯学習ホール、近代文学館の空調設備を KHP から EHP へ大規模改修した。
- 令和 8. 3 公共図書館の企画展示を評価するイベント「図書館のひきだし」で全国一位として表彰された。
展示「備えていますか？高山の災害と避難生活」を開催。
レファレンス協同データベースの事例登録実績が評価され御礼状対象館に選出。

高山市図書館の所在地等一覧

(2026年3月31日現在)

- 高山市図書館「煥章館」(本館)
〒506-0838 高山市馬場町2丁目115番地
電話：0577-32-3096 FAX：0577-32-3098 Eメール：library@library.takayama.gifu.jp
- 丹生川分館
〒506-2121 高山市丹生川町坊方2000番地 丹生川支所 3階
電話：0577-78-1111 (丹生川支所) FAX：0577-78-2011 (丹生川支所)
- 清見分館
〒506-0102 高山市清見町三日町305番地 きよみ館 2階
電話：0577-68-2211 (清見支所) FAX：0577-68-2549 (清見支所)
- 荘川分館
〒501-5413 高山市荘川町新淵430番地1 荘川総合センター
電話：05769-2-2211 (荘川支所) FAX：05769-2-2562 (荘川支所)
- 一之宮分館
〒509-3505 高山市一之宮町3095番地 飛騨位山文化交流館
電話・FAX：0577-53-0035 (飛騨位山文化交流館)
- 久々野分館
〒509-3205 高山市久々野町久々野1505番地4 久々野公民館
電話：0577-52-3112 (久々野公民館) FAX：0577-52-2860 (久々野公民館)
- 朝日分館
〒509-3325 高山市朝日町万石800番地 燦燦朝日館 2階
電話：0577-55-3311 (朝日支所) FAX：0577-55-3217 (朝日支所)
- 高根分館
〒509-3411 高山市高根町上ヶ洞481番地 高根多目的センター 1階
電話：0577-59-2211 (高根支所) FAX：0577-59-2555 (高根支所)
- 国府分館
〒509-4119 高山市国府町広瀬町880番地1 こくふ交流センター
電話：0577-72-3111 (国府支所) FAX：0577-72-3851 (国府支所)
- 上宝分館
〒506-1317 高山市上宝町本郷540番地 上宝支所
電話：0578-86-2111 (上宝支所) FAX：0578-86-2923 (上宝支所)

指定管理者：株式会社図書館流通センター 本社

〒112-8632 東京都文京区大塚3丁目1番1号 電話：03-3943-2221 FAX：03-3943-8441